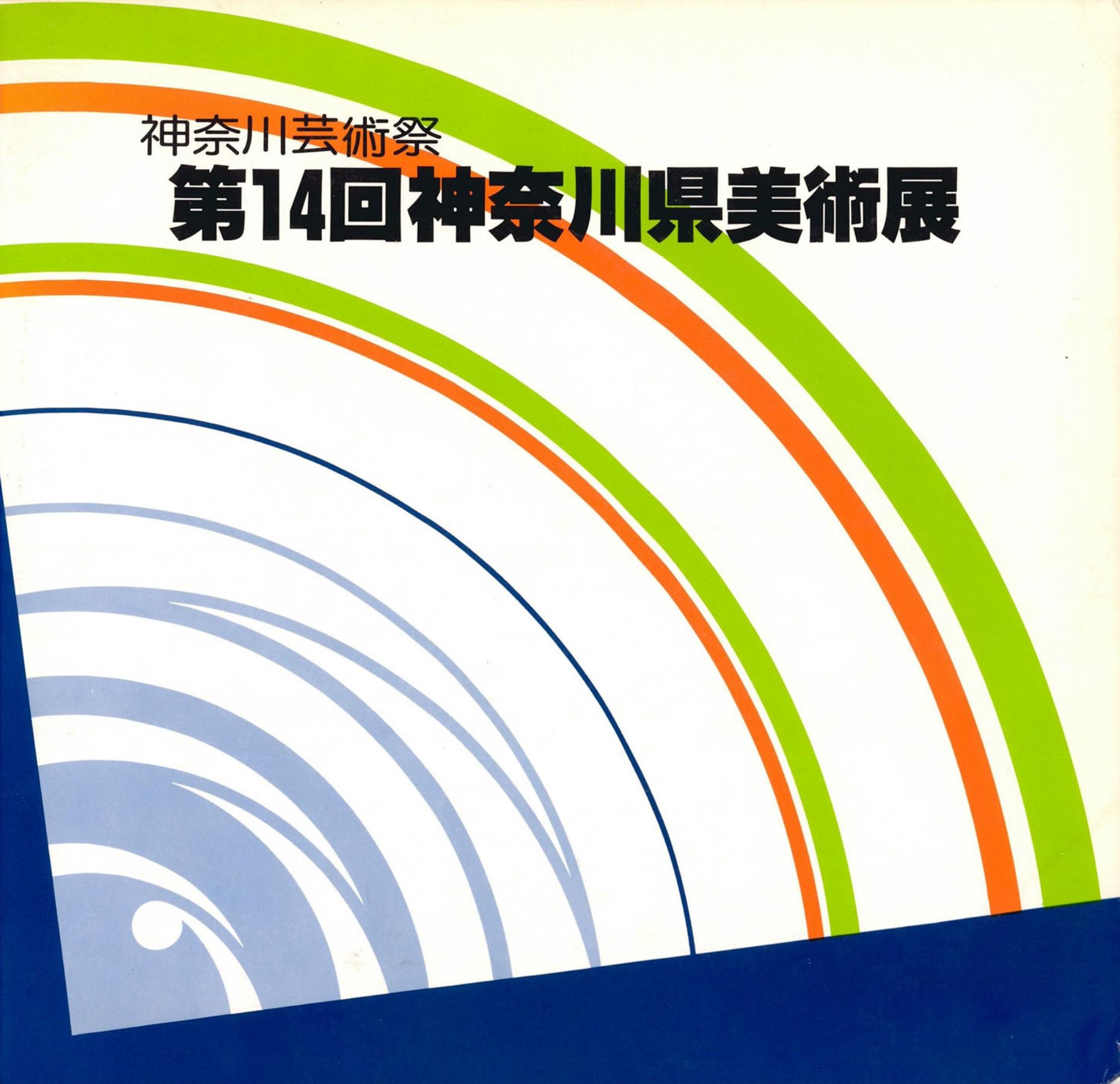


神奈川芸術祭

第14回神奈川県美術展



神奈川芸術祭
第14回神奈川県美術展

■会期 昭和54年1月17日～2月25日

入選作品展《1期》日本画 洋画 版画 彫刻 立体造形
54年1月17(水)～1月28(日)

入選作品展《2期》工芸 書 写真
54年1月30(火)～2月11(日)

招待展 日本画 洋画 版画 彫刻 立体造形 工芸 書 写真
54年2月13(火)～2月25(日)

■会場 県立県民ホールギャラリー

■主催 神奈川県美術展委員会 神奈川県

あいさつ

第14回神奈川県美術展を関係者の皆さまの深い御理解と多大な御助力を得まして開催できますことを心から感謝し、嬉しく存じます。

県内の美術作家の育成と文化の振興を願つて発足いたしました本美術展は、当初の絵画、彫刻部門に、工芸、書、写真部門を加え、内容を充実させながら県内最大規模の美術展に発展してまいりました。

今年もまた、1年の歳月をこの美術展にかけた大作が県民ホールギャラリーいっぱいに集まり、審査にあられた先生方の御苦労もまたひときわであつたことと存じます。

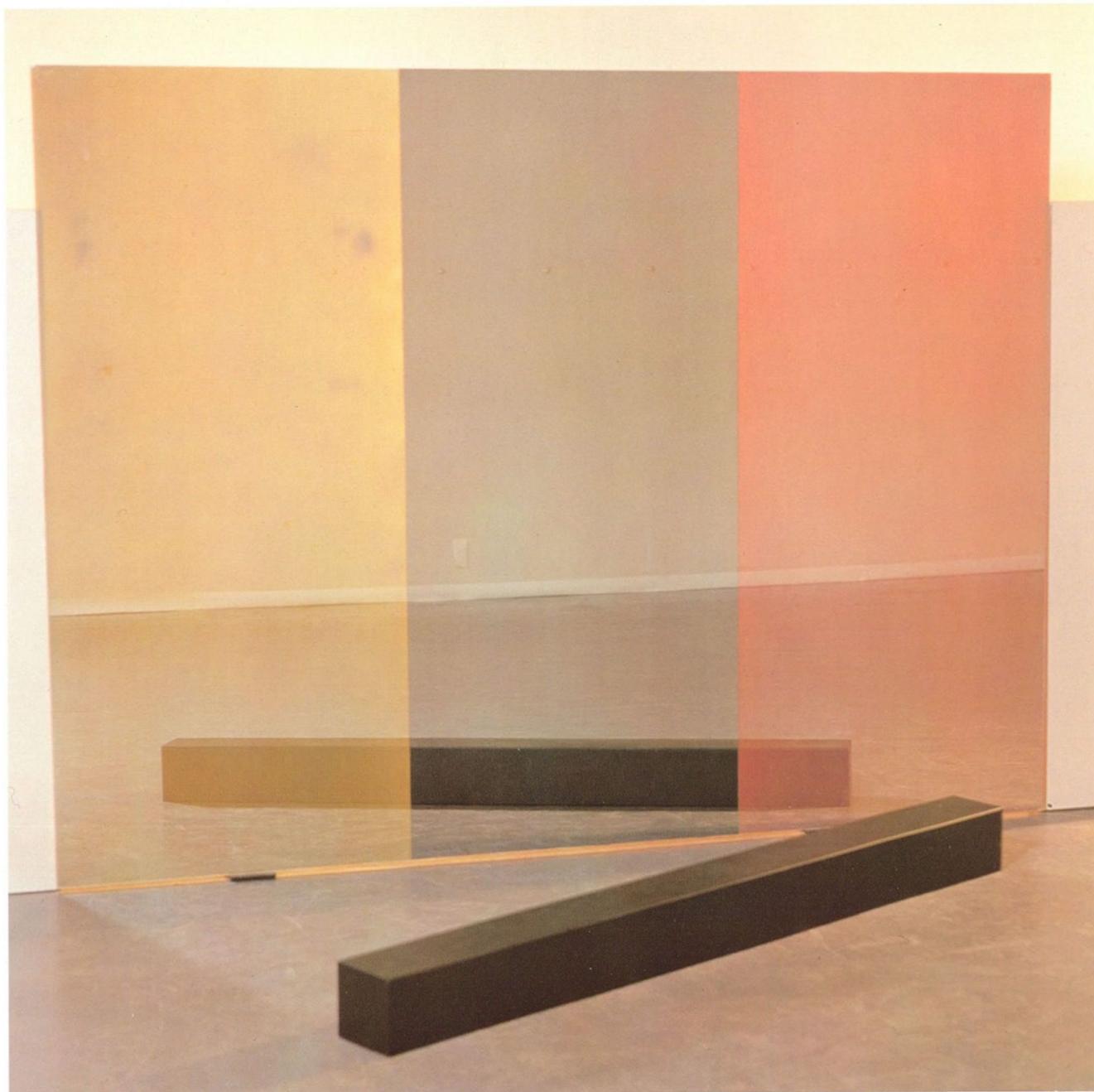
この図録には、各部門の特に優秀とされた入賞作品を集録するとともに、コンクール入選者の目録、各部門の審査講評並びに招待展に御出品してくださった諸先生の作品目録を掲載しました。今後の皆さまの励みとなり、また記念になれば幸いであります。

「神奈川芸術祭」も3回目を迎え、県民の方々の創造意欲が高まりつつある今日、本美術展のもつ役割はより大きくなってきており、今後も皆さまの声に応えていくべく一層の努力を続けてまいる所存ですので、御鞭撻御協力を心からお願ひ申し上げます。

昭和54年1月17日

神奈川県美術展委員会
委員長 穴水清彦

入選作品



大賞 坂田一之 MIRROR(立体造形)



準大賞 水谷 愛子 としより(日本画)



準大賞 東 日出夫 四角い張力群(工芸)



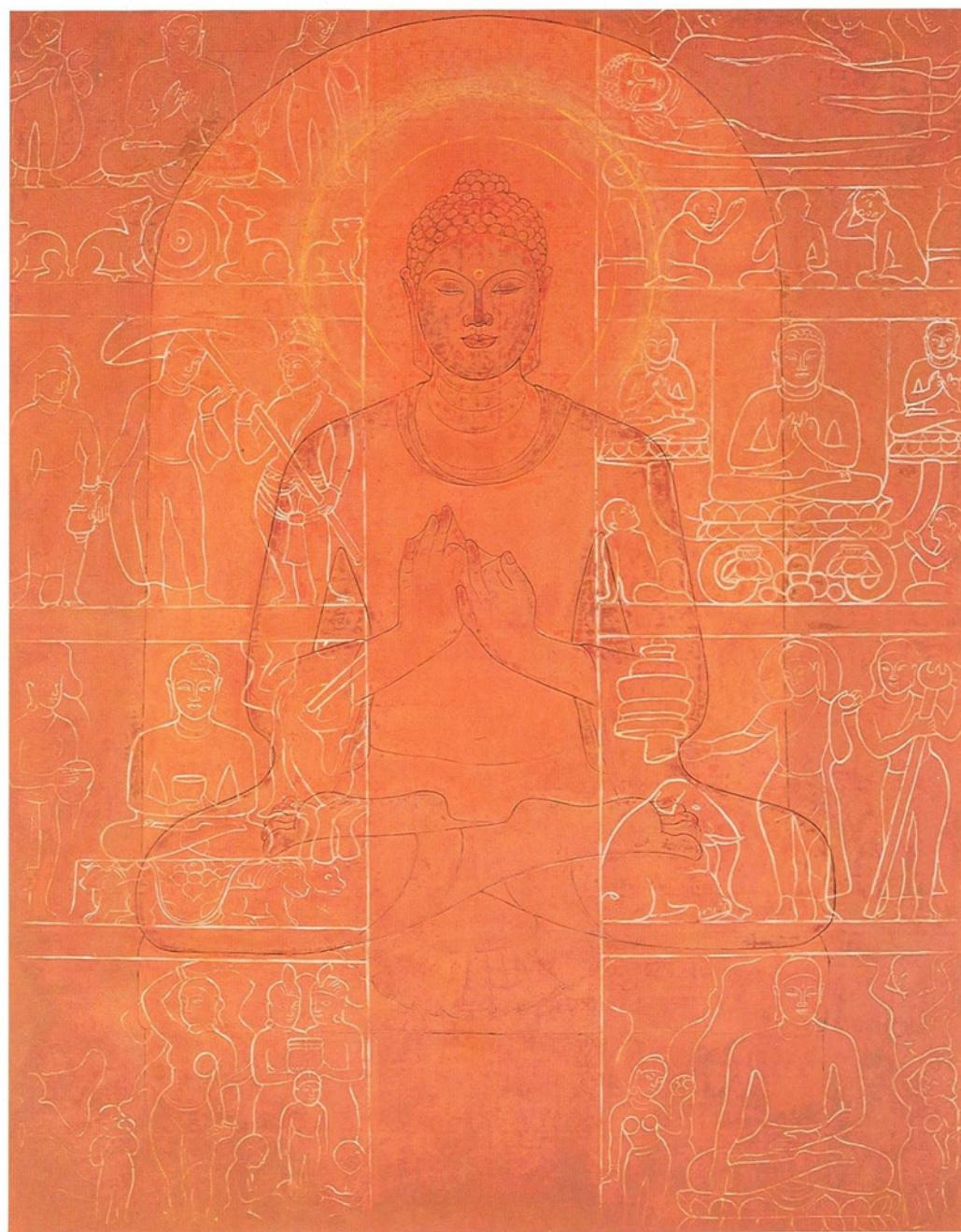
特選 奥田 紘 都会のマリオネット(跡)(洋画)



特 選 岡本道治 もう一つの世界(球)VIII(版画)



特選 倉賀野 廣 春光(彫刻)

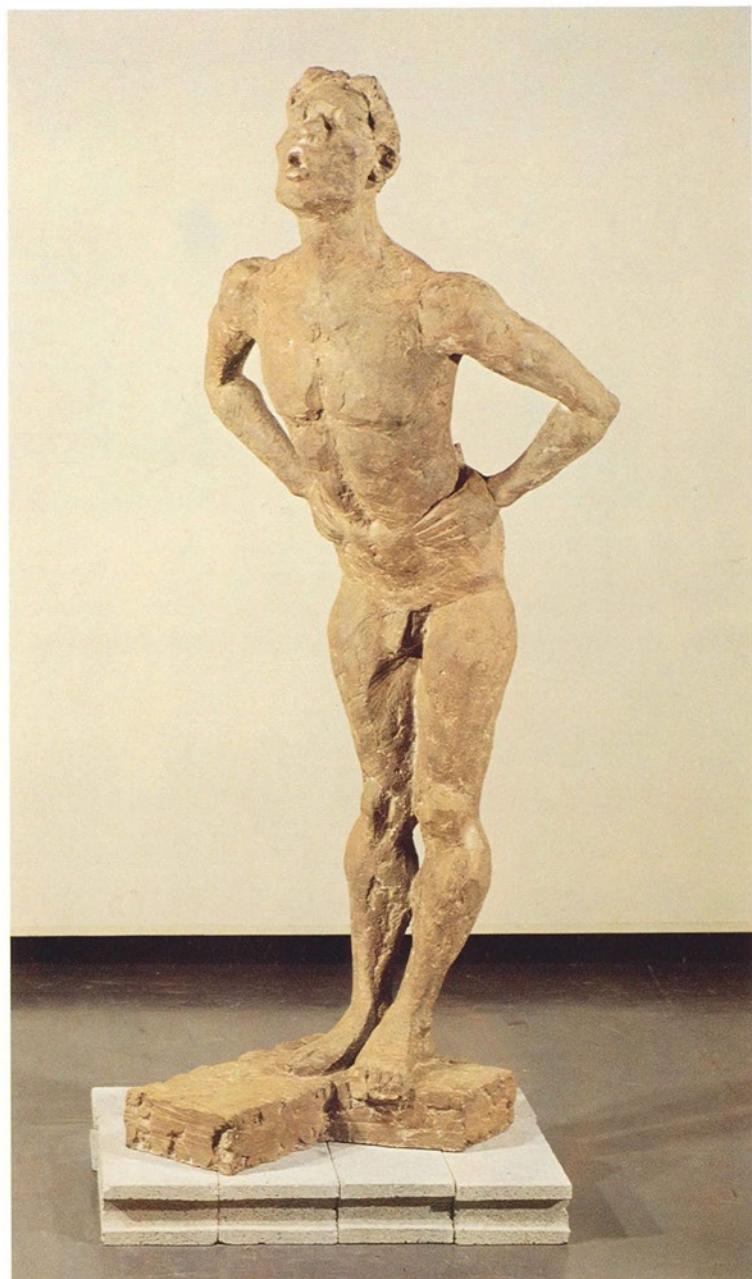


美術獎学会賞

山中雪人 仏陀伝想(日本画)



美術授学会賞 小山 佐敏 Another III(洋画)



美術奨学会賞 李 赫 山びこ(彫刻)



近代美術館賞

森本 修一 遠い風景・残された風景(版画)



県議会議長賞 松原 健 唱(A)(水彩画)



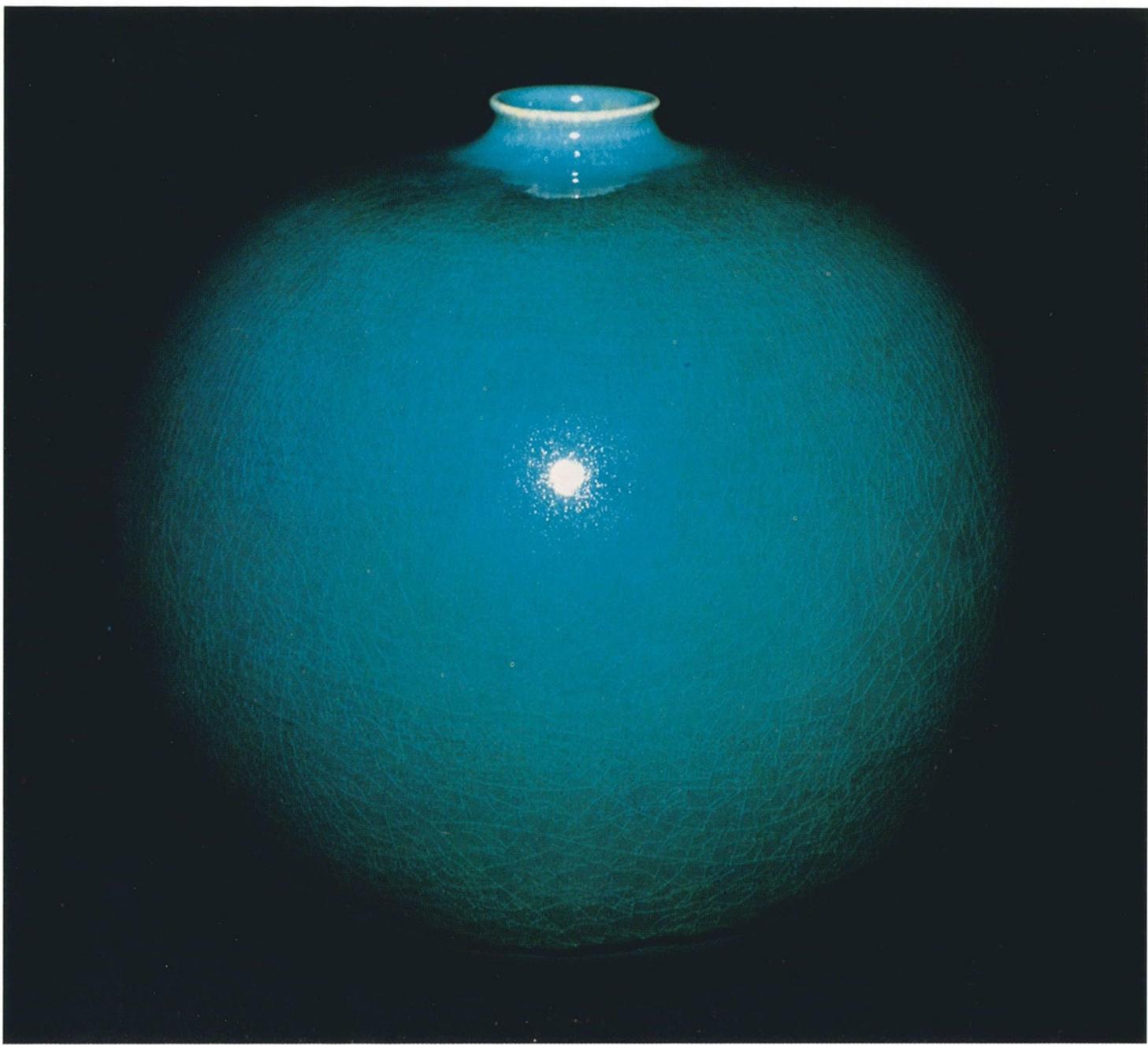
特選 石橋澄子 WAVING WALL(工芸)



特 選 黒沢 伸子 ふり一じあ(工芸)



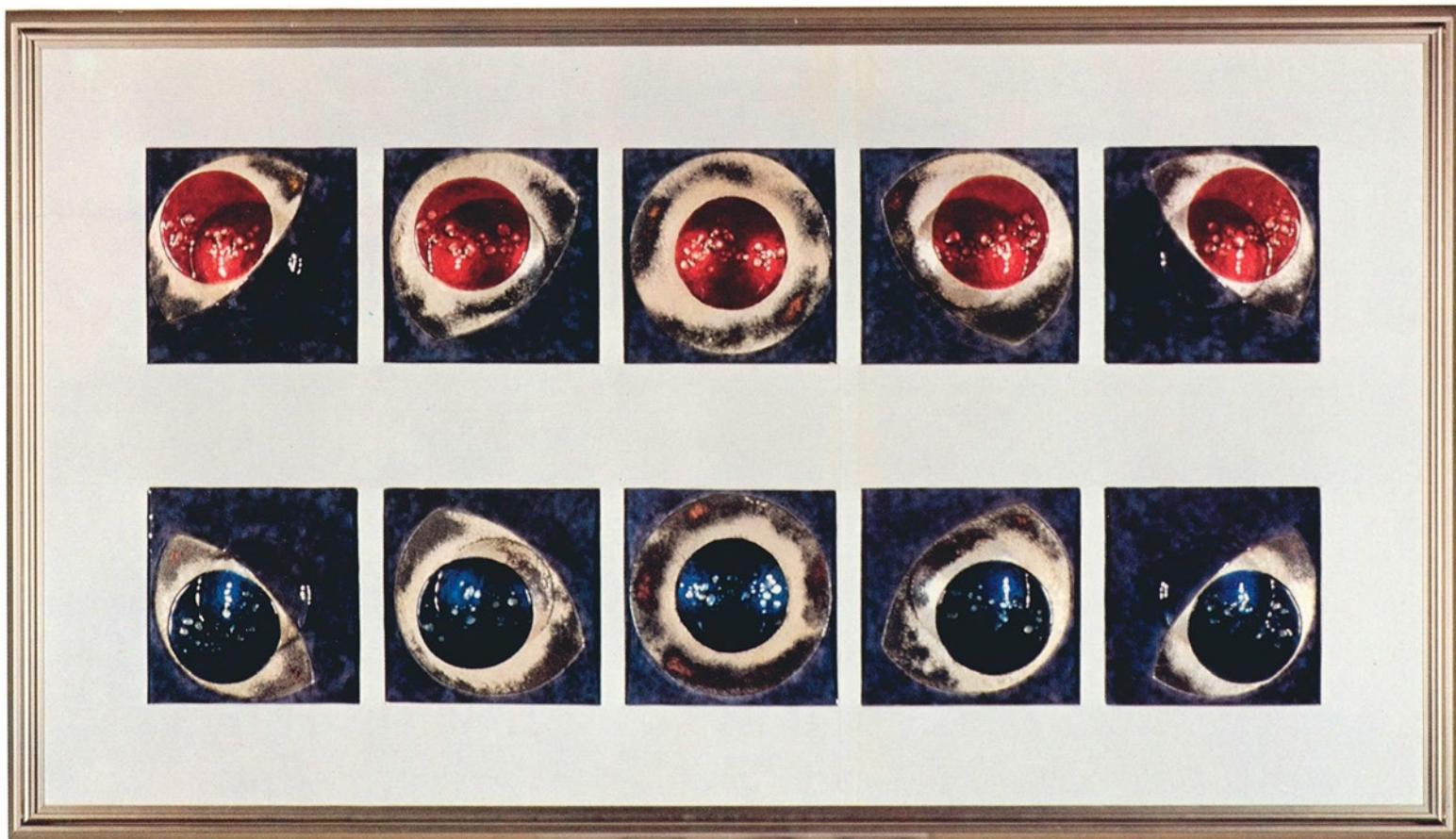
美術奨学会賞 吉田きみ子 憂いは悦びに(工芸)



美術奨学会賞 村主 武 簡素(I)ペルシャ青磁釉壺(工芸)



美術獎学会賞 原田 光子 鋸(工芸)



美術獎学会賞 藤井克則 既既(工芸)



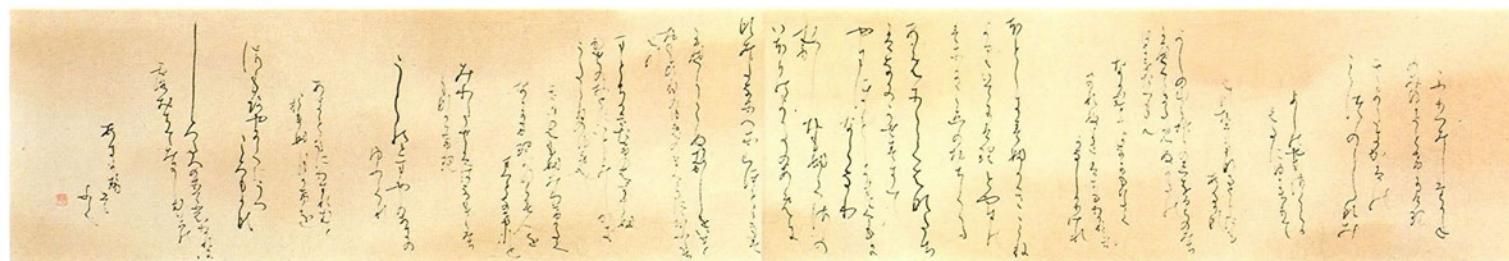
美術奨学会賞 新谷吉枝 飾り皿鶴(工芸)

人言休嘗。每念此生虛幻，後悔無窮。此亦常事。昔先哲所著，親渴歡而作亂
牛。——後多取西漢劉向《新序》。重車一石難。是屢乎。越國歲在不作人。榮
華盡。人居處。萬木何年為長年。不復有。今作我。蓮荷蕭瑟。——此語特為遷叟。
「自古風流事。誰能不自説。各言所知。能此。今除草木。生在遠。是多難。荷葉早。累
人。生居也。草根冷。秋更。輕霜急。不時。秋之水。——此意。予。不。好。詩。——林和靖。孤山隱士。
柳。人。

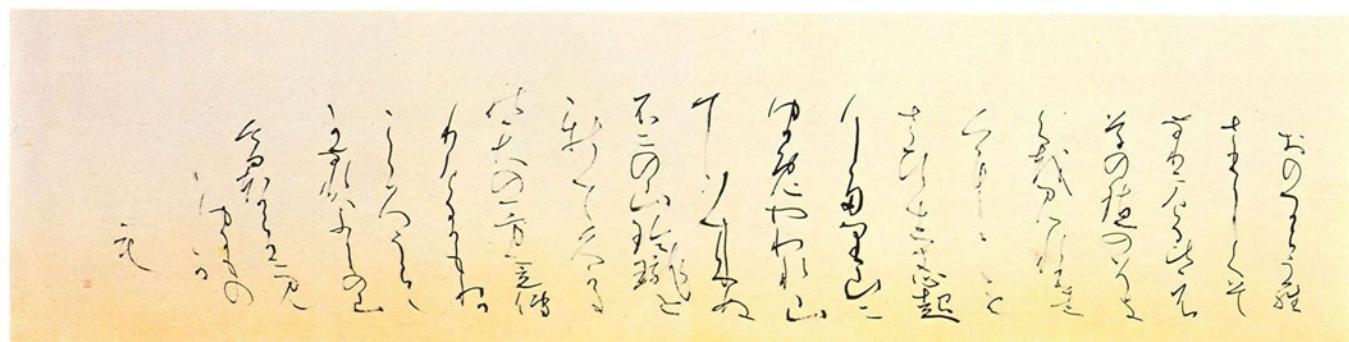
特選 矢島撫周 陶淵明の詩(書)

替峨媚。雲霧。形容。聲音。薄。臂。愧。毛。厚。厚。德。川。惟。淵。進。德。智。所。拙。
退。耕。
不。往。御。孫。內。窮。海。以。酒。對。宮。林。今。枕。味。以。所。聞。不。悔。
臨。仰。其。耽。以。三。無。事。
鳴。禽。於。傷。感。和。蕩。蕪。虛。易。身。離。群。業。園。心。枯。槁。豈。獨。守。孤。微。存。名。
樹。靈。榜。昭。書。

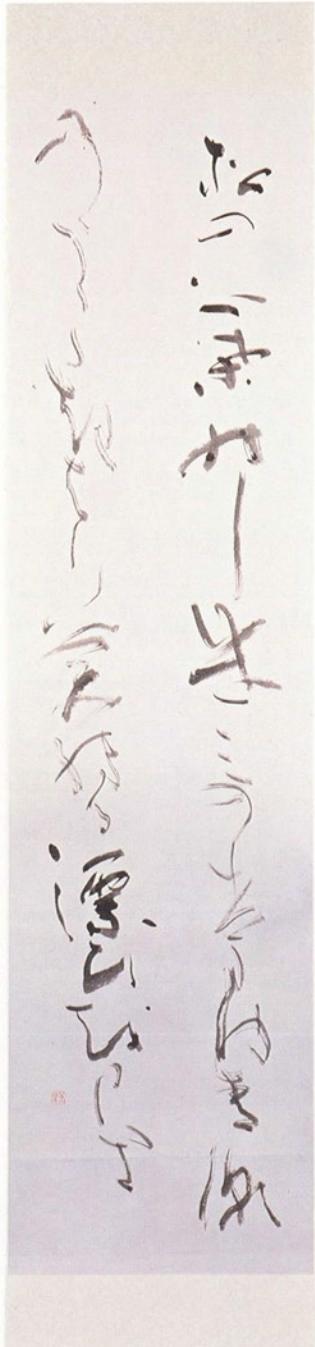
特選 篠田朋泉 謝靈運詩(書)



美術奨学会賞 日野 珠光 新古今の歌(書)



美術奨学会賞 小林 小笛 白秋の歌(書)



美術奨学会賞 岩沢蕙堂 青潮(書)



美術奨学会賞 安藤青山 杜甫詩(書)

芒草に霜

降りたり

やしはぬかりよみたせらす

とはや期れり

くらぐり寒い

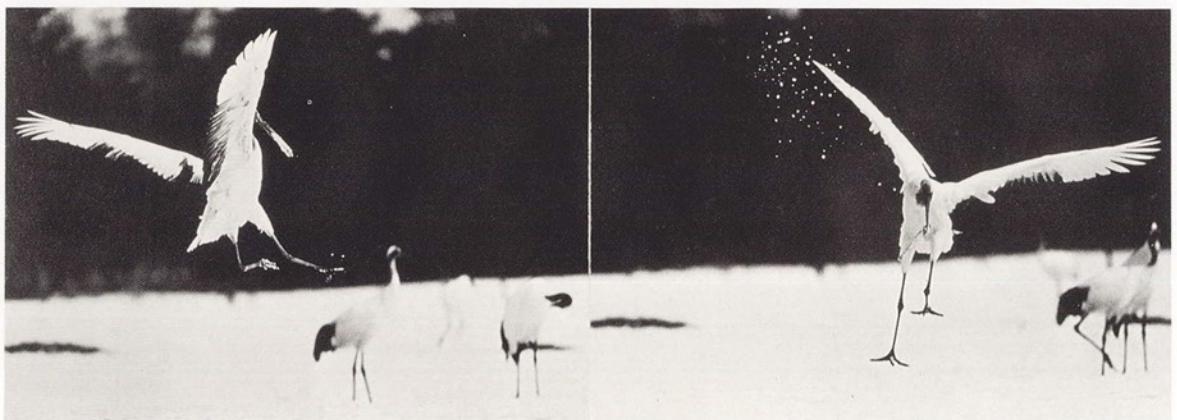
さかくわうと



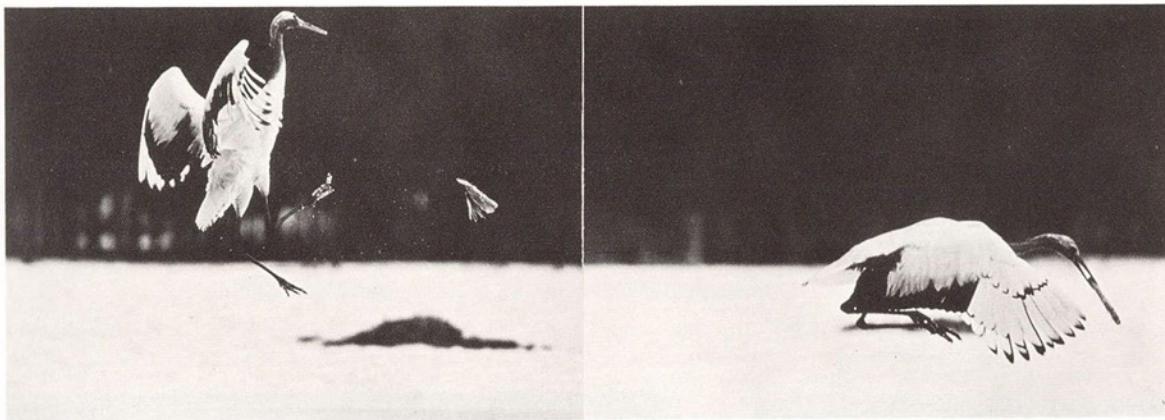
美術奨学会賞 溪口美智子 室生犀星詩(書)



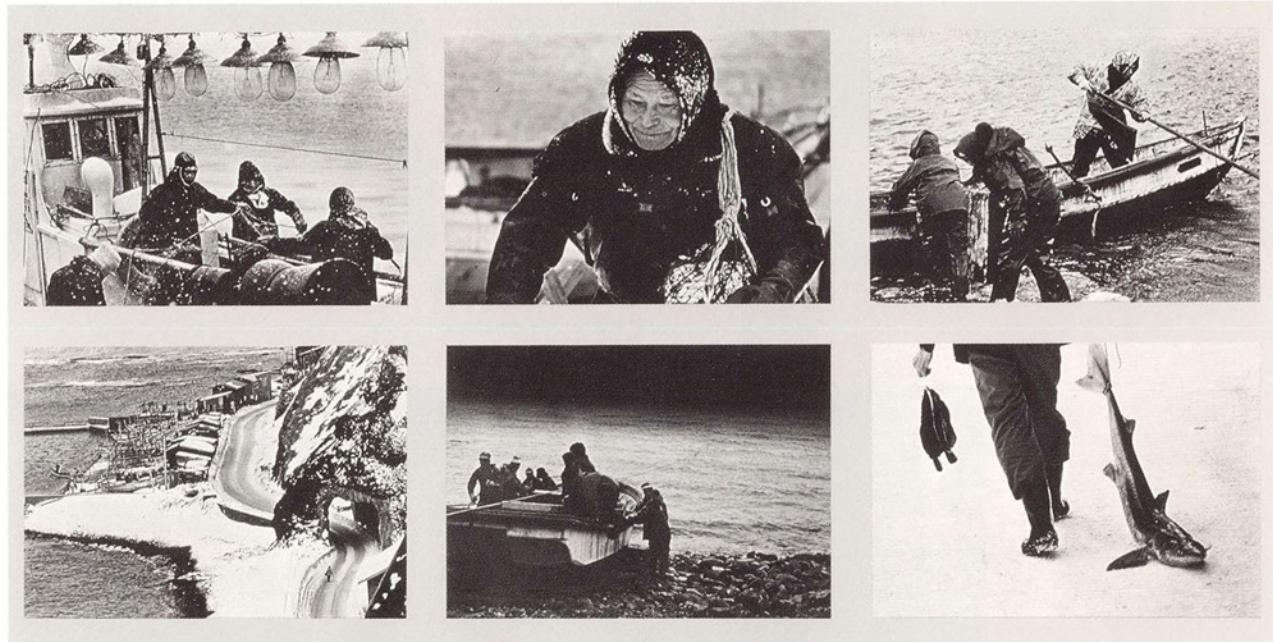
特選 木村杏平 相模有情(写真)



美術奨学会賞 市原欣一 まつりの夜(写真)



美術奨学会賞 増田 智生 雪に舞う その1、その2(写真)



美術奨学会賞 西村 建子 北の海(写真)

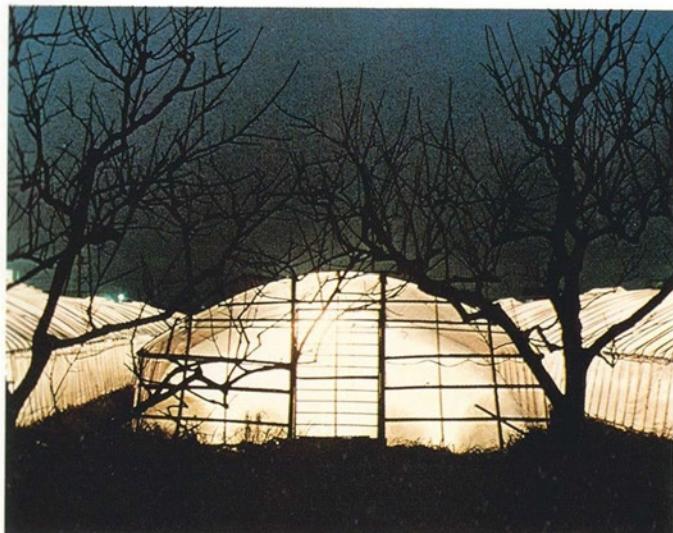




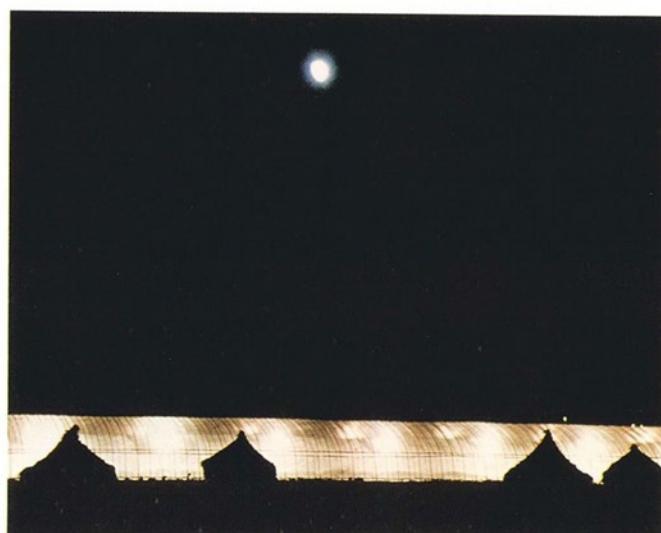
美術奨学会賞



山本潤一郎 故郷の春(写真)



美術奨学会賞

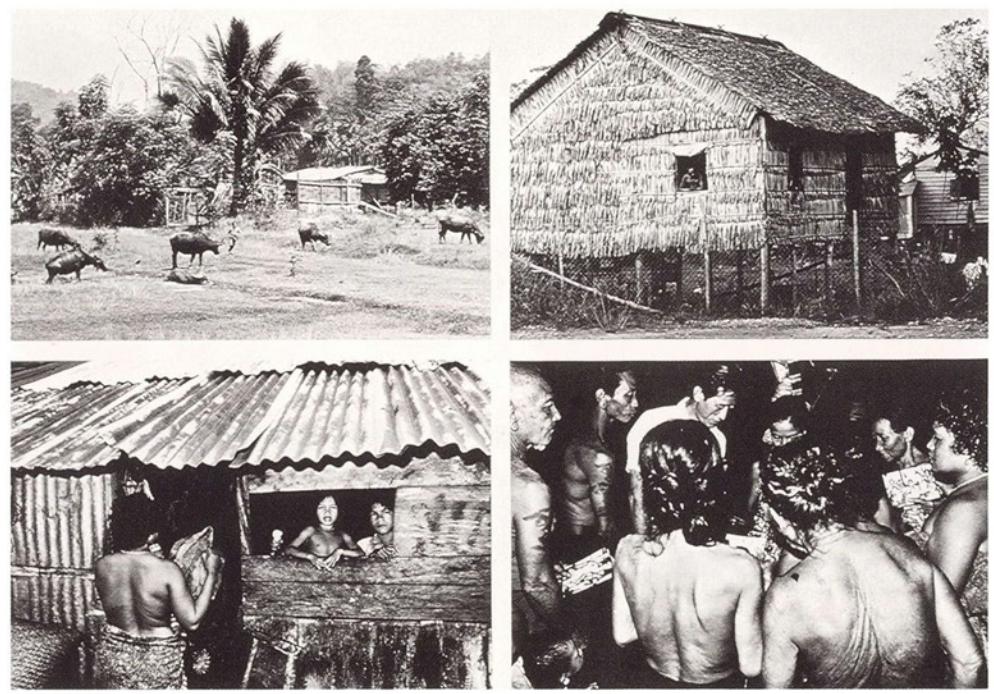


勝俣晃男 暮れ行くビニールハウス(写真)



美術奨学会賞

堀坂和夫 日日好日(写真)





美術奨学会賞 加藤 惣平 津軽川倉地蔵盆(写真)



美術奨学会賞 菊地 喜保 生きる日々(写真)



美術獎学会賞 佐野 栄治 鎌倉のいろいろ(写真)



美術奨学会賞 池村重司 旭物(写真)

受賞作品目録

大賞

坂田一之 MIRROR

立体造形

準大賞

水谷愛子 としより
東日出夫 四角い張力群

日本画
工芸

特選

奥田 紘 都会のマリオネット(跡)
岡本道治 もう一つの世界(球)Ⅷ
倉賀野 廣 春光
石橋澄子 WAVING WALL
黒沢伸子 ふりーじあ
篠田朋泉 謝靈運詩
矢島撫周 陶淵明の詩
木村杏平 相模有情

洋画
版画
彫刻
工芸
工芸
書
書
写真

美術奨学会賞

山中雪人	仏陀伝想	日本画
小山佐敏	Another III	洋画
李赫	山びこ	彫刻
吉田きみ子	憂いは悦びに	工芸
村主武	簡素(I)ペルシャ青磁釉壺	工芸
原田光子	鋭	工芸
藤井克則	皆既	工芸
新谷吉枝	飾り皿鶏	工芸
日野珠光	新古今の歌	書
岩沢蕙堂	青潮	書
溪口美智子	室生犀星詩	書
安藤青山	杜甫詩	書
小林小笛	白秋の歌	書
山本潤一郎	故郷の春	写真
勝俣晃男	暮れ行くビニールハウス	写真
市原欣一	まつりの夜	写真
佐野栄治	鎌倉のいろあい	写真
堀坂和夫	日日好日	写真
加藤惣平	津軽川倉地蔵盆	写真
菊地喜保	生きる日々	写真
池村重司	旭羽	写真
西村建子	北の海	写真
増田智生	雪に舞う その1, その2	写真

近代美術館賞

森本修一 遠い風景・残され風景 版画

県議会議長賞

松原賢 唱(A) 水彩画

入選作品目録

日本画

佐々木史江 ファミリー
竹川正俊 弧(ご)
熊谷桃子 水に遊ぶ
熊坂靄太郎 草炎譜II
古賀文子 あんなたち
西松玲子 フラミンゴ「暁光」
山本明美 群像
菊地圭子 いろはにほへど
松本哲実 葉舞
加藤敏夫 交錯するイメージ
河野秀子 火宅の思
山本直彰 歩く群像のある風景B
品川成明 静 I
市橋豊美 火喰鳥・アカンサス
奥山祥子 流響 2
田部井月四 家族
宮前正樹 悪魔を憐れむ歌
" 自画像(嫉妬)
大島司郎 あしゅら I
" あしゅら II
樺原則子 私の時間
藤本幸江 熱い夢
飯野静江 舞
仙波存乃恵 おもいで
松倉茂比古 幻
川井勝美 白い船
渡辺薰 人物 A
大貫文江 ブルー・モスク-82
小松崎千砂子 伝言
松浦喜美枝 裸婦座像
野崎丑之介 海戦記・上
" 海戦記・下
山本ヨリコ みんなパンサーイ

宮下富佐子 桃花源のひぐれ
桜庭春来 作品No.23

洋画

佐藤嘉夫 鋼管置場(A)
井上逸子 鳥かごとブロック壁
岸豊治 Wood-plan-H
梅田東巳 白い望郷(1)
知久茂雄 寂光
菊地武彦 横断歩道 II
宮田翁輔 建設
" 開発 2
柳章文 作品 (No.2)
上条裕子 親和
平野剛敏 追想A-T.1
千葉彰一 川辺の町
奥田紘 訪問する都会のカード
宮盛孝一郎 迷路のように②
石川俊一 月夜 IV
石塚健児 田と子②
臼井恵之輔 鳥'78-7
富田潤 嘘諭(1)
谷川義美 根の伝説再考
九多持 物語 3
積山恭平 街
松村英明 真鶴にて I
佐藤元昭 夢見る椅子
岩瀬哲夫 円形の景一夜
矢島良夫 外風景(2)
米山肇 雨降り女
小山佐敏 Another V
結柴正作 浜

菅野昌實

" 賜命扉
男谷省吾 賜命輪(1)
久松共子 海辺
西田真義 黒と白のバラード II
倉持千佳子 本牧
尾竹由己 夜の構成 部屋に流れ込む夜
吉見寿美 R·流 1
市川智子 道化①
小野義広 逃亡シリーズIII(浮上について)
多田実 花開く(II)
南田昌康 過疎水枯の譜 II
田部井要 午后の情景
相原光雄 褒いた日 '78~ 8
伊藤晴実 SYSTEM·G-26
稻木孝 WORK-78-6
武藤政彦 結氷の浜
平和夫 開かれた時に
堀井正明 二人 A
三田村哲子 ルージュの伝言
田中愛子 ある日のファンターデー No.7
伊藤寿治 花
加藤恭夫 朝の小田原駅前
大場博 大廃墟(ムスター)
出口佳子 作品 1
秋元由美子 one and one
平田アツ子 サロメ
高橋和夫 家族 No.1
滝とも子 人形の家
藤原寛子 again & again
小山栄 過ぎさつた刻 I
" 過ぎさつた刻 II
鶴田昭夫 ささやき
田村文男 曰常-静物
田中善明 帰鴉

榎本香菜子	夢遊	横井清賢	かみなりに貫かれた樹	山崎和代	La pomme
"	陣地II	金子英	I'œuvre 78-3	押田陽子	森とシャトー
萩原和子	憩う	細谷正男	"HAND" 78-8	岡本道治	もう一つの世界(球) VI
富樫京子	背を向けて	原田映爾	窓	"	" VIII
白石明夫	MOLD IN Life-1	長沢康子	黙	奥井富士夫	生命・II
阿部照夫	鉄工場	大石毅典	壺鬼(こき)シリーズNo.1	門司豊	存在の風景 -4人いる-
田中善隆	ささえつささえの II	関根希海雄	インドにて II		
菅原千恵子	傀儡 I	越水茂	やさしい形-A		
深田芳雅	室内(3)	佐々間恭子	人(I)		
江口博巳	氷解(II)	鈴木ヨシオ	Melencalia I		
山田裕子	煙突のある風景		" II		
今公昭	刻壁 I	中沢晴男	昭和曼茶羅私男	坂井彰夫	石工の青年
松波慶一郎	群れの風景 A	"	叫	池田清史	日と日を移す
"	群れの風景 B	竹内斗望	DEMIAN-1	高坂博美	立つポーズ
瀬尾一嘉	華の詩	倉橋元治	奈落3	坂井匠子	立
庄司健一	的のある風景	小林守	青春時代	若鍋寛	トルソ
山下博司	ビエロ	坂育夫	曰輪祭	井上麦	棲息
鳥居はつみ	静物	曾我朝彦	七つの大罪大食	横川勝	トルソ
内柴静子	作品54-2	須山孝	彼女自身の影をともなつたAYA	岡崎直	由紀子像
高専寺紘和	トライアングルの静物	"	方法としての旅	"	モデルの典子
水彩画		村岡千秋	CYCLAMEN AND ME	大内稔	坊主頭
瀬尾力	アトミック・ブルー・ラスト	工藤忠孝	うしなわれる空間 I	"	そよかぜ II
		五島三子男	Vanishing scenery (宮田の印象A)	李赫	/ルメ(ばつちゃん)
		関根政人	"HAND"	若林豊	裸婦
		茂木行雄	頭脳光景の散歩道	倉賀野広	後に腕を組む女(女優Mさん) A
		比留間良夫	Review D-2	"	後に腕を組む女(女優Mさん) B
		高橋功	おもひ	佐藤桂苑(幸子)	うさぎの詩
		竹内正幸	What the singing?	高橋順一	KINETIS 1
		井上房子	タナトスト神話	麻田昭作	女の首
		広瀬善博	虚無	杉英行	若い女
		高橋順一	CONTINGENT 1	"	じゅんこ
		杉山一夫	ヨコスカ・ドブ板シリーズNo.21	佐々木孝美	夏から秋へのボエム
		寺田有恒	翔ぶ男	大貫玲子	此岸人 その一
		"	七つの道	山本豊彦	腕を抜けたトルソ
利渉重雄	森へ	"	穴		

立体造形

山口順子 状況'78-7 Spoon or Rope A
" 状況'78-7 Spoon or Rope B
金子安規 More Grass
田端徹 Fly in a circle (I)
" Fly in a circle (II)
" Fly in a circle (III)
露木順三 8・15
佐瀬隆 WORK-1A-78
" WORK-1B-78
大塙英夫 8 Swings & 7 Plates
菅沼みどり 作品A
木村巧 「Z」BOX
" 「A」BOX(職業芸術家は一度滅びなければならない)
竹村滋 between
桜井典夫 再生
勝又豊子 非常口
松倉藍輔 内部地図(発掘資料)
志摩麻子 蛇口
斎藤光弘 CUBE №6
桜井裕子 回帰への道
—あるいは表出と消滅の系譜

宮本真佐子 ひかり
吉原聖子 ONNA
佐藤弥生 海鳴
丑山みゆき 湘南 PART I
小熊敏美 son cheveu(髪)
上村雅子 情炎
吉村玲子 うみ
太田光子 テルファイ(Delphi)
兵藤ふみ子 泰山木
高橋洗江 幻想—インカからの手紙
佐藤敏枝 赤い虫(I)
" 赤い虫(II)
木内隆男 木芯
広枝千鶴子 灰釉平鉢
諸熊広志 柿釉馬の目皿
藤永志光 信楽風長皿
大井元定 信楽風水指
秋山博満 伊羅保釉花入
川端雅子 草木染平織細 雅
" 正藍染手織細 道屯
佐藤のり子 タピストリー
平岩共代 ジュウリー'78
中曾根馨 抜瑠野草文壺
平野貴司 鉄釉叩き壺
清水君江 彩蓮
田原恭子 着物・小紋
佐野陽三 小鳥文切立丸盆
後藤よし江 草木染手織細(着尺)
渡辺恵美子 ベルシアの華
桜井光美 遊
青木英子 さまざまな夢想
佐々木香 鼠志野壺
中島三千代 七宝角柱台
前田淳子 碧影
桂雅子 レキュウエム№5

西原清志 乾漆壺
宮道ユキ子 朱塗ボール5個
倉田忠治 油滴天目壺
谷田部君江 少女
宮本庸子 「断面」
石井美江子 晩秋野(着物)
狩野炎立 不垢不淨
桑原平治 壺(伊羅保釉)
佐藤由美子 雨のシンフォニー
中村裕子 春の調べ
山崎とも子 鉢
柴垣直行 染付人物文壺
五味彦一 天目釉自流平鉢
佐護妙子 風に舞え
武井源蔵 榛木地呂塗硯箱
足立治男 鶴手練込鉢「波濤」
木村久美子 華薰
前川俊子 遙かなる日
近藤薰 樹影
秋元徹 力オスからの脱出
門田ヒロ子 二人
本田敏晴 鶴
伊奈尚子 茜の刻
青木健二郎 FLOOD OF EMOTIONS
菅沼三千子 拭漆擧造盛器
青山常昭 五陵盛器
野口章子 鉄釉鉄絵鉢
広沢麗子 海神の声
長澤義春 練込壺
中野佳子 スペースディバイダー
出繩高昭 花器
山田むつ子 さざんか
森田洋子 花器連作「和」①、②、③
桑名美津子 級織着物“秋意”
小川淳子 飾箱

工芸

石井礼子 刺繍額(蒼江)
近弘 炉 扉
中島光雄 壺
熊谷勇美子 壁 I
鈴木亘 練上花瓶
小磯弥栄子 浅春
大内璋 食籠
小林望子 熱砂
小林公子 葦の里
西村順子 花壺
三浦啓子 藍

関田栄成	古代の柱	富岡登	鄭風“山有扶蘇”	相馬彌花	近代詩文
奥田光代	縞	吉武真弓	論語	小山奎	製
勝田智子	飾皿	古沢幸夫	胡茄曲	秋山松香	島木赤彦の歌
岩澤健吾	空へ	落合正男	七言絶句	伊藤翠香	晶子の歌
湯村京子	あそび場	金子如龍	赤松勲詩	石井澄水	李白の詩
田野佳代子	ぐつどばい	津越青龍	李白詩	高瀬瑠花	柿本人麿呂之歌
宮本正義	志野大壺	野田翠蘭	更級日記より	大藤史城	蘇軾詩 永遇楽
徳富和子	古墳	泉弘子	関戸本古今集	武田清美	李商隱詩
八ツ橋博美	灰釉花びん	嶋田匡峰	牛瀬丹楓	石川蒼丘	茂吉の歌一首
高木参平	裂	夏梅陽子	佐藤春夫詩(首夏)	阿部啓圃	新古今和歌 秋上三首
駒木 稔	絶	座間たみ子	佐藤春夫(野路の朝に)	川口流坡	宗元集詩
秦美智子	黒衣の女	遠藤千明	鹿島鳴秋詩「浜千鳥」	今西柳雨	古今集三首
小林信子	染額「はな」	町田百合子	島崎藤村(明星)	高平紫光	新古今和歌集
黒沢伸子	冬花	竹下幽光	李白の詩	朽岡梅塲	春二首
樋村允彦	'79態「胚胎」	秋本耿雨	落葉松 <small>落葉松はいつめざめても雪降りをり</small>	松橋秋塘	新古今和歌集6種
竹村滋	花生「孤樹」	浜本茂	島崎藤村の詩	松田松遜	土屋文明和歌
勝文彦	'78-WVI「割」	石坂雅彦	郵風定之方中	竹田華堂	吉井勇の歌一首
坂間昭	子供	土田武子	野口雨情詩	棧敷東石	臨高野切第一種
三嶋真人	鎔 №1	森山力ヨ子	「春」八木重吉	長谷川秋蘭	古今和歌集抄
三嶋真美	晴れの日のコンボジション	大村雅子	近代詩文	泉金映	百人一首抄
江成房子	朋	木曾美津子	双子の母心	大畠蕙昭	金子薰園歌
北村訓子	搖	大木暁	砂の枕	明石蕙州	柿本人麿呂の歌
柴田良子	ときめき	北西弘	近代詩	増永筑風	和歌一首(入江為守の歌)
書					
牧野ふみ江	万葉のうた	山崎可祝	かけろう	木下蕙苟	若山牧水の歌
小林光葉	唐詩 送張子尉南海	八木房江	紋(金子光晴詩)	登坂巖	峯參詩江上曉風雨
小林春葉	秦州雜詩	小助川チヨ	坂本遼詩 恋人	中澤碧怜	臨巻子本古今集
入澤八祥	唐詩 渡湘江-(杜審言)	斎藤湖石	いまこの庭に	木村碧雨	木戸孝允の詩
高瀬如仙	杜甫詩	川瀬魚石	高見順の詩	藤野清嵒	劉禹錫詩
筒井丹村	杜甫之詩	佃知子	谷川俊太郎詩	池田撫草	高啓詩
篠田茂山	杜甫詩 堂成	萩村みちよ	涙	赤井桂山	杜甫詩(杜少陵)
栗橋東崖	杜甫詩(陪鄭廣文遊何將軍山村)	金子修	雪に立つ竹 北原白秋	安藤蘆穂	憶昨詩示諸外弟
	永根楊千	古魚の句		横山芳碩	黃庭堅詩
				平田十臥	杜甫詩
				鈴木明如	良寛之詩
				甘粕如香	良寛之詩

林 如巖	良寛詩	近 藤 春柳	李白詩 他二首	重 田 佳 和	雨が降つた祭りー青森県大間町・8月ー
小 川 如 泉	良寛詩	谷 口 春 泉	高青邱詩一首	外 ノ 池 浩 志	潮風ホテルの朝のうた
長 島 正 恵	高野切第3種	柴 岡 明 洞	杜甫詩 彭衙行	エンドウシンジ	舞態
田 中 茂 子	堅香子の花	尾 崎 静 凰	杜甫詩	内 田 忠	職人
井上 きみゑ	春	森 草 坡	袁宏道詩	杉 浦 幸 雄	原宿アフタヌーン
堀 柳 竹	ひかり(八木重声の詩)	生 嶋 静 月	元好問詩一首	本 間 英 夫	上高地ー早春の穂高
八 島 幽 月	胡震	田 澤 兆 処	来鵬詩二首	佐 藤 誠 治	出を待つ
山 本 花 聲	西園雅集	原 茜 処	陸游詩一首	小 川 正 治	廃墟
須 山 光 華	寒山詩	和 気 清 堂	杜甫七言律詩	石 田 瀬 吉	夏の海辺
原 田 義 鳳	呉昌碩の詩	西 田 東 穂	唐詩	近 藤 修 久	お手を挙げ
山 田 秋 風	李白詩	横 田 南 眇	杜甫詩	まきのひでお	図形
関 湖 園	唐詩	南 茗 陽	柳宗元詩	楠 尾 肇	三里塚
川 越 秋 聲	呉偉業詩	塚 越 博	孟浩然五言古詩	高 山 学	湯治
三 津 木 芝 影	杜甫詩	国 分 清 志	惠風	住 江 正 範	PORTRAITS
須 貝 越 葉	放翁詩	斎 藤 泥 石	履霜堅冰至	松 浦 好 雄	川崎・浮島付近
稻 垣 隼 人	陶淵明詩	春 山 右 濤	劉禹詩・贈鮮于伯機	千 葉 久 男	収穫の日々(会津喜多方)
高 橋 蒲 川	寒山の詩	楳 原 右 鳳	小島切抄	石 塚 力	(カルカッタ)露店の親子
真 田 華 村	白泉天詩	青 蔭 清 節	霜鐘	山 崎 廣	矢切の渡し
五 味 彩 翠	陸游の詩	大 矢 凰 城	自詠詩「日月星辰之詩」第12	田 口 文 章	日々の光景
砂 川 匂 村	杜甫の詩	松 永 光 凰	源氏物語(桐壺の巻より)	武 田 聰	「水没の村」山北三保ダム記録
細 野 果 村	白楽天詩(不出門)			根 岸 克 明	残照
馬 嶋 邑 翠	渭上偶釣			中 西 栄 造	孤独
沢 辺 象 泉	大水			本 間 立 吉	尾瀬ヶ原 初冬 1、2、
富 田 象 濤	李商隱詩			坂 谷 武 雄	裏通り(青物横丁)
杉 山 紫 苑	唐詩	千 屋 栄 市	奇勝	中 尾 務	津軽十三湖点景
柴 田 李 笙	唐詩	山 口 勝 善	祭りの若衆	越 水 亀 太 郎	北上川の朝
阿 部 跳 龍	漢詩	小 川 洋	Fight..... 1、2、	菊 地 原 俊 二	残照
小 川 紫 流	唐詩	小 室 宏	若手	新 野 泰 介	横浜スタジアムの今昔
吉 沢 菁 萩	李白詩	関 勇	氷河	古 橋 昭 二	珍入者
青 木 不 搶	元結詩	木 庭 紀 光	マツターホルン	上 原 公 平	御来光
星 光 陽	夏目漱石詩	"	静寂	谷 口 誠	マヤ文明の謎(中米)
加 藤 翠 鄕	陶淵明詩	矢 花 一 弘	インペーション	柳 井 秀 芳	路地
佐 藤 柚 処	白居易詩 寄殷協律	小 川 実	祭りの少女	木 所 栄 一	NUDE
加 藤 州 処	陸機詩 陸平源羅宦機	宇 野 良 美	夜明け前(尾瀬沼)	山 崎 隆 義	雪国の賦
鈴 木 蓉 処	蘇軾詩	平 綿 良 則	寒林に入る日	青 木 繁 雄	静謐(かまくら)

写真

臼居一雄 ふる里
小林富一郎 男のにおい
野田茂十 雪国の春
清水啓一 薪能
諸星又春 大地
青田吉生 すぎ去つた日々
佐藤義和 馬
星子省造 恐山
臼井孝 ハラジュクの若者達①、②
石渡四郎 フェスティバル・イン・アツギ
" 菅浦部落の朝(北琵琶湖)
梅田修 遊戯
山下昭雄 野点
香山修 波の詩
高島義一 壁
" 軌跡
鈴木雅裕 弓術家
梅田章 働く女(輪島の魚市場にて)
仁平廣 みさご島の夏(青森・尻屋崎)
望月従道 北海の漁師
佐藤正一 ツバワコの印象
能川保 大磯の夜祭り
坂口正臣 祭の人
斎藤和年 初冬 1、2、3
林邦基 魚河岸 1、2、3
近藤一成 朝焼
成田光芳 リリー¹
近藤敏道 疾走
萩原新八 残照
高橋宰子 雪原暮色
片岡順一 排氣
石川昭朗 暑い日
奥山博幸 役者
鈴木英雄 幕間

審查講評

日本画

本年も前年より応募点数は増したが入選点数は同じという現象が日本画に出た。厳選というほどではないが、決してルーズな選別ではなかつた。年毎に応募作品のレベルが上昇していることはたしかであるし、日本画の通念が年とともに変化していることも顕著である。従来なら洋画でしか扱わなかつたような題材を勇敢に日本画の技法と日本画の材料で処理しているし、しかもそれが相当成功しているのが喜ばしい。日本画と洋画の相違がますますなくなり、両者が接近して、絵画は一つなりという感じを強く持たせてくれる。応募作品を選別していく感じたことである。

入選作品についていえば、まづ若い女性の進歩のいちじるしさだった。もっともこの女性進出は本展だけの現象ではないのだが、受賞候補六人のうちに男性はベテランの二人だけで、あとはみな若い女性と一人のベテラン女性だった。しかも、いわゆる女流画家特有のなよなよとしたせん弱さなど全くない堂々たる力作だったから心強い限りである。

はじめに厳選ではないがルーズでもなかつたと書いたが、加藤東一、月岡栄貴両先生と一緒に、五回に亘って選別を繰り返し重ねて三十五点（二点入選は一組一点に数えた）を選出した。各審査委員は専門技法の細部に到るまでよく見て冷静に比較検討をした。その結果箔の使い方などをはじめ日本画本来の技法の点で研究不足があるのを指摘されたが、それは各自今後の努力にまたねばならない。

竹田道太郎

- 審査員：加藤東一・竹田道太郎・月岡栄貴
- 応募点数89点(61人)・入選点数37点(34人)

洋画

相変わらず洋画部門の応募作品は多い。水彩画22点を合わせると548点。今回の入選点数は88点であつたから相当ぎひしい入選率である。応募作品の多いことは、県内の洋画人口が多く関心の高いことのあらわれで嬉しいことである。

神奈川県美術展の質の高さは定評のあるところで今さら言うまでもない。しかし、すでに14回であり、斬新で迫力にみちた発足当初にくらべ、洋画部門はこのところとかく低調といわれる。今回も残念ながら洋画部門に大賞に相当する作品がなかつた。

今回の出品作の傾向として注目されたことは、まず第一に大作が多かつたことである。元気のないときに大作の多いことは明るい期待がもてそうでうれしかつた。洋画部門の最近の低調は選手交替の曲り角かもしれない。大作の多いことが低迷の雲をはらう潜在的な意欲の胎動であればよいと思うのである。

また、一人で数点の大作の出品が目についた。熱意を感じられてよかつたが、ほとんどが個々に切り離すと弱く発言力の乏しい作品であつた。一点一点の作品が、それぞれ鑑別の眼にたえうる強さをもつて欲しい。また、絵を描く喜びや楽しみの感じられる素直で迫力のある作品に合うことのできなかつたのも残念である。

今こそ新人のためにはまたとない好機かもしれない。個性的で新鮮な作品を期待したい。

入選作のなかで、特選となつた奥田紘の「都会のマリオネット」、その他の賞となつた小山佐敏の「AnotherIII」、水彩画で賞となつた松原賢の「唱(A)」の大作をはじめ、富田翁輔、平野剛敏、武藤政彦、小山栄、松波慶一郎の諸作など、いずれ劣らぬ力のこもつた作品である。今後の活躍を期待しよう。

国領経郎

- 審査員：江添栄一郎・鬼頭 瞳・小泉元生・国領経郎
鷗 剛・勝呂忠・鶴田猛・寺田透・森秀男
- 応募点数：548点(268人)・入選点数88点81人

版画

重い雲、うすら寒い風、歳の暮れを思わせる審査の日であった。それでも審査会場は華やいで、不安も入り交つて出番を待つものの沈黙の活景があつた。それは、社会の状況はこうも画面に反映するのかという思いに繋がつた。経済の低迷がもたらす世相のもろもろの有様の縮図がここにも…、といふのは言い過ぎだろうか。でもこうした縮図にこそ県民の眞の祭典、県美術展というものの性格が自ら象徴されているのではないかと。今回は殊更にそう思う。

時流に敏感に、表現の先端を歩み続けようという姿勢の人たち、さらに表現の幅を一步も二歩も進めようという実験や冒険、勿論そうした作品は少くはなかつた。でも何となく意気があがらない。低迷の時期なのだろうか。一方おのれの世界を、おもねりや気負いもなく素直に出している人たち。底流にこうした人たちの出品が絶えないのは心強い。しかし今のところ技術的レベルが上るのとは反対に、次第に少数派になる恐れを抱かせる。この底流の出品がもっと増え、入落にかかわりなく本流になるのが喜ばしいのだが……。

物足りなく思つたのはベテランと思われる人たちが、公募を控えたのではないかと推量されることだ。一部が招待部門に移行することも考えられるのだが、いま一つ県展の魅力ないしは意義、こうした本質的なものへの反省がなされてよい時期かもしれない。

今日の生活様式は版画文化といえるほど複数生産の時代にある。版画はまさに時代の表現感覚にマッチする。しかも版画はプロセスの結果が自分の眼を惑わせる故に、また誰もが自己満足に陥り易い。一方神奈川の位置は殊更地域性を云々し難い国の文化水準にある。したがつて一般に言えることは、本流の人たちが版画表現の技術の意味を少し理解し、そのための努力と工夫と、したたかな眼を持ちさえすれば、格段に見事な世界を展開してくれるに違ないと確言できることだ。

野村 博

- 審査員：斎藤寿一・田島宏行・野村 博・由木 礼
- 応募点数：144点(52人)・入選点数50点(41人)

彫刻

神奈川県美術展の第一回展がひらかれた時は、私は東京に住んでいたので関係は無く、只、その噂をきいたに過ぎなかつたが、噂はなかなか華々しく、某紙上にグランプリ作品の批評がのつたり、(紙上が誌上か正確な記憶はないが)「多額の賞金が出るそうだから、神奈川に下宿して出品しようか。」などと若い作家が話題にするのを耳にしたりしたものであつた。

たまたま7年前に、葉山に移り住むことになり、審査を依頼された時、私はそれらの事を思い出し、どんな組織であるのか、どんな作品が集まつてくるのかと、期待するものがあつた。

然し、今回で三度審査した印象としては、組織は年々複雑化し、応募作品の傾向は固定化してしまつたようにおもわれてならない。

地方展の本当のあり方とはどういうものであろうか、もつと独自性のある、何が飛び出して来るかわからないというような面白さのある展覧会であつていいのではなかろうか。

間もなく十五回を迎える今、組織そのものに一工夫ありたい気がする。「展覧会というものは五年毎につくり直すものだ。」という言葉もあるくらいで、このへんで一考する必要がありそうな気がするのである。

幸い、神奈川県には、若い面白い作家も多数いるのであるから、中央官展の出店化することもないであろう。

尚、審査にあたつて、今更、造型と彫刻を二部門に分けなくてはならないという事にも疑問をもつものである。

坂上政克

- 審査員：浅井行雄・井上信道・坂上政克
- 応募点数55点(31人)・入選点数26点(19人)

立体造形

今年度の立体造形部門の応募者数は、昨年の20人で28点、入選は15人で16点だったのに比べ、今年は22人で35点の応募数で、入選は20点と着実に伸びているよう心強く感じた。又、全作品の質が高く、力作揃いで選外作品をきめるのに苦労した。

中には毎年本部門に出品し、かなり安定した力量を示している作家達もいたし、かなり広範囲にわたる素材を使って、計り知れぬエネルギーで創作していることに敬服した。中でも「MIRROR」の作品は、単なる技法を越えた、ストレートにコンセプトを現状況の中で、開き切った態度で表現していて、観る者の意識下の何かを強く打つものがあった。「A」BOXと「Z」BOXはユーモラスな風刺の中に現代生活の危機を表現していたし、「FLY IN A CIRCLE」は2次元としての円をたたみ込んで4次元の世界にまで観る者を誘い込むモダンな作品だったし、「内部地図」という、去年は特選を取った作家の作品は、やはり同じく板ガラスを変形させて素材として使っていたが、前回の方が今回の作品より、物に即した表現のリアリティがあつたが、実力のある人なので今後に期待出来る。

以上は全作品の中の一部の作品の感想であるが、全体的に種々多様の中に現代を表現していて、比較することは非常に困難であった。

しかし、全体の印象に注文を付けるとすれば、もっと自分のコンセプトを持って地道に、しかも大膽に表現して欲しいと思つた。

又、ほとんどの出品作品が文字通りの立体造形物であつて、いわゆる現代美術に最も近い部門としてこの部門があるならば、もっと、コンセプトの要素の強い平面、写真、フィルム、ビデオ等の作品参加が出来易くすることも今後の課題だと思つた。

島 州一

●審査員：斎藤義重・原口典之・島 州一

●応募点数：35点(22人)・入選点数20点(16人)

工芸

第14回神奈川県美術展の工芸部門への応募作品は、149名の作家による208点であり、これを昨年の126名による175点と比較すると、作家の数では23名、作品の数では33点の増加を示している。応募作品の水準もここ数年来、年ごとに上昇して來てあり、かつては良く見られた単に趣味的な手芸の域を一步も出でていないものとか、技術はあっても独善性が強く、しかも時代錯誤に陥ってしまっているといったようなものは殆んど影を潜めるに至っている。

審査員は11名で編成されていたが、1名の欠席によって実際には10名で審査が行われた。偶数の人員で行う審査であつたために投票による採決に際してはしばしば決定の難かしい事態に直面したこともあるたが、論議と投票の繰り返しによって厳しいうちにも至って公正な審査が行われた。ただし、余程のものでない限り、1名の作家が2点入選することは制限した。それは県展の性格からいつて優れた後続の人々に対して一人でも多く作品発表の機会を与えてあげたいという考え方からにほかならない。

今回、個性溢れる各部門の大賞候補作品の中から工芸部門の東田出夫作「四角い張力群」(木工パネル)が準大賞を獲得したことは工芸のために大変喜ばしい限りである。永年触れ馴れた素材に鍛え上げた刀の刃えが的確に走り、明快で力強い点が何よりも気持よい。

特選の石橋澄子作「WAVING WALL」(ウール織)は現代の織造形としては静かな方だが、素材に取り組んだ作者の意欲が見るものに対して一種の緊張感となって迫つてくる見事な大作である。色彩も美しい。

同じく特選の黒沢伸子作「ふり一じあ」(着物)は、槐、柘榴、玉ねぎ、蘇芳、藍など草木染による細の着物で格調と温雅な味わいを備えている。

一つ一つに触れられないのは残念だが、全体を見て創作意識が旺盛であり、技術面でも充実して来ている。

吉田耕三

●審査員：赤地友哉・飯野啓三・名務鑑三・河村又次郎

佐藤もとい・竹内佳夫・野田芳正・水野矯夫

吉田耕三・吉田丈夫

●応募点数：208点(149人)・112点(109人)

書

本年は昨年に比して約3割近い出品数の増加を示したことには、県美術展の書部門が逐次その実効を挙げつつあることと想われる。

出品作品を通観して云えることは、全般的には向上の跡づけが窺えるし特に優れた作品という事になると未だの感がある。然しそれ本県の書部門のレベルは全国的に見て、かなり高いので、その意味に於ては年次ここにその内容の高まりを認める。又、近代詩文という新しい傾向の作品が増えたこともよろこばしいことの一つである。

審査の結果特選にえらばれた人達の作品は、それぞれ個性豊かな表現のもとに一応の力量を示している。そしてこれらの人達が将来の県美術展書部門の中核として活躍されることが期待される。

特選作品について

◎一席になられた篠田朋泉君は謝靈運の詩を素材として清人の書風をふまえ乍らもよく近代性を表わし、明解にしてまさにユニークなものであつた。

◎二席の矢島撫周君は何子貞の書をよく消化し、五行に亘る密作をものにしてその手腕の伸長を示すものであつた。

◎三席の日野珠光君は、古典をよく消化し、聊さの破綻も見せずに、近代性を具現し、静かなうちに変化に富んだ作品であつた。

◎岩沢蕙生君はまことに堂々たる仮名作品であり、スケールの大きさは場中一であつた。

◎淡口美智子君の作品は、至難な近代詩文をよくまとめ上げ、筆力強く品位も高い、将来の近代詩文書作品の指針として評価出来る。

◎安藤青山君は古意豊かにして新味溢れるもので、その縦横の軽妙さは抜群である。

◎小林小笛君は昨年に引続いての特選受賞は見事である。仮名作品でも困難な中字をよくまとめ上げている。

殿村藍田

- 審査員：大島嵐山・岡田扇香・斎藤丹鶴・仙場右羊
- 竹田悦堂・殿村藍田
- 応募点数：185点(185人)・入選点数122点(122人)

写真

絵のような写真あり、写真のような絵もある。写真でなければ表現できない写真が大切である。絵のような美しい写真も必要である。展示のバランス上、リアルな写真を主にした7：3の比率で鑑別されている。写真にはまたノンフィクションとフィクションの二つのジャンルがある。記録やドキュメンタリが写真のお家芸であるから、ノンフィクションは重要であり本命である。フィクション部門も大事にしなければならないのが写真の世界だと思う。今回の写真部の最高賞の木村杏平氏の「相模有情」は、フィクションものであつた。過去の13回の写真部最高賞のうち、今回をふくめてフィクションものの受賞は3回である。それだけに、3作とも傑出している。

木村氏の作品は、流れ女のだるい風情がしみでた叙情詩を唄いあげた佳品であつた。山本潤一郎氏の「故郷の春」は、山国のあるさとの春を謳歌した詩情あふれる作品である。更にベテランの加藤裕平氏の「津軽川倉地蔵盆」は、東北地方の民間信仰の風土的な面白さを、昼と夜の対比で効果をあげている。堀坂和夫氏の「日日好日」は、友好条約の結ばれた中国・人民共和国の農村風物の、のんびりした情景が、いかにも大陸的で浪漫的である。菊地喜保氏の「生きる日日」は、東南アジアの貧しい人々の生活の凄しさが迫真的である。佐野栄治氏の「鎌倉のいろあい」は、リバーサルフィルムの発色の良さが圧巻である。勝俣晃男氏の「暮れゆくビニールハウス」は、農村の新しいビニール農法のもつ美しさをよく発見している。ベテラン勝俣氏のカムバックのヒットであつた。

今回は、全体のレベルが上昇して、入賞作品ばかりでなく、入選作もそれぞれ佳作揃いで、次回も力作が多数よせられることを期待している。今回の作品でWP印画紙の表装で失敗したものがあつたが、いい作品が、表装むらで割愛されたのは残念であつた。

奥村泰宏

- 審査員：奥村泰宏・塙田正男・田中雅夫・常盤とよ子
　　浜口タカシ
- 応募点数：400点(177人)・入選点数179点(88人)

招待部門

招待部門

日本画

加藤東一 静物
渡辺幸雄 ポントロ
石川響 生々
海野旭世 「赫い道」(インド)
小倉遊亀 花
岡本彌寿子 鶴への願い
小松澄佳 裸婦
浅見信夫 静物
小島昇 塔のある街
万尾辰雄 花
入江正己 故宮
大山鎮野
結城天童 妙高山荘
上田臥牛 海女

樋口善一 妙高山
飯島義也 室内
森本博子 ミスター湖(パンフ国立公園)
杉田義雄 大島より串本港
桜川洋子 公園
佐々木文綱 風景
進藤清 海(水彩画)
添田定夫 冬樹の道
佐々木雅人 瑞泉寺の梅
鈴木雪子 砂上を行く花嫁
井上正子 青の詩
増田常吉 トレド
川島實 みちのく残雪
島田四郎 猫を抱く女
川口栄 砂丘
田中君江 風景
佐藤美子 美ヶ原
戸津文雄 山村薄暮
岡野正樹 山
安喰虎雄 卓上静物
遠藤典太 柏檻
越智雄二 谷川岳
横尾丈夫 石仏
田代利夫 作品2
田辺謙輔 岬の見える風景
加藤秀夫 絵を描く女
小清水金司 風景
山崎秀夫 戦うドン・キホーテ
安富信也 風景からの
赤岩賢三 合奏
石井佐一 風景
江見絹子 作品
岡村芳男 氷上のせり合い
志村計介 風景
江添栄一郎 古代オリエントの回想
(玉座をかつぐ人々)

北岡数彦 空の詩
杉浦勝人 パンのある静物
遠藤慶一郎 黒い肖像
相沢正 作品
阪本文男 バラの座
勝呂忠 面と起状
木村一生 気配
木村良枝 天使
永井肇 青い2枚のパネル
大津忠太郎 浮遊
オオミタイゾー 燃える梯形
栗原喜依子 裸婦
堀内千里 猫
鶴田猛 風景
河野日出雄 夕映
兎月人 叛乱前夜(くぐつ女)
鈴木国威 花
浜田嘉代 風景
服部和益 フィレンツエ風景
荒井茂雄 花
柴田周一 from 79~1
田沢茂 五百羅漢
柴田善登 夏山(明神岳)
瀬島好正 青
岸宏士 街
武林敬吉 風景
稻葉治夫 Stipes 79—1·3
油野誠一 風景
細井千鶴子 風景
田賀亮三 一角獣のための試作車
広瀬一二 異化
宇都宮マリ 作品
鬼頭暉 1人、2人、3人、(連作)
塚谷政義 裸像
井上俊郎 ガンガのほとり

洋画

中谷龍一 馬と少年
木下寿々子 パンジー¹
小泉元生 風景
源川雪
吉崎道治 春を待つ湖北
岩館知義 風景
寺井重三 踊り子
藤波成喜 静物
泉文子 花と女
谷合浩典 室内
小林哲夫 カルラの誘い
吉野谷幸重 静物
新井康須雄 街
石田精吾 石仏
阿部和美 静物
井口啓人

森 秀男 無数たちの青 79—02
塚谷恵津子 静物(レモンのある)
森川ユキエ 一本足
和田松久 女
国領経郎 花のある風景
寺田春式 薫風
佐藤努 幻の道
千田高詩 作品
中西新太郎 秋
浅生田光司 山の夜明け(剣岳)
金岩清隆 遊歩
越後島芳明 風景
後藤武久 当麻の里
川村直子 RAW PROGRESS OF THE WORK
金沢博 La Marine
江波伸 忘れたくない花
笹英子 島の石切場
鈴木充朗 風景
長宗希佳 室内の風景
高瀬哉沖 群像
鴨剛 鉛筆画B
植田曠躬 宙 78—14
伊藤愛子 時と時の間
熊沢淑 作品1
島谷晃 The shadow of mine
大道健治 赤い氷門
加藤義雄 柔道、松葉三角固、護身術
猪瀬踏花 アクロボリス遠望
高木敏行 作品 1979—1
田口雅己 東西二美人
泉谷淑夫 ジブシーのいる風景
(微視的考察によるモナリザ)
佐々木壯六 橋(チュー・リッヒ)
中尾誠 景
島田正次 静物
古川益弘 風景

安保健二 運河
小関利雄 不寂静
版画
馬渕聖 静物
馬場橋男 バレード
大内マコト HAKO
岩見禮花 水の譜
柄木順子 作品—79—1(鳥のある風景)
相笠昌義 わが画室、わが家族
由木礼 朝の訪れ
田島宏行 赤い花嫁
斎藤寿一 宙
島州一 落下
野村博 花
彫刻
高田博厚 空
高田博厚 地
河原明
糸山三穂 残照
伊藤芳雄 白さい
長江録弥 ヴァチカンの囁き
浅井行雄 花
圓鍔元規 猛
斎藤高徳 裸婦
中村宏 座る女
安田周三郎 異形 D—6
松本繁来 春の作
圓鍔勝三 聖人
桑山賀行 待つ
陶山定人 うす衣の女

丹羽武雄 首(A)
井上信道 作品 '79
西谷富士雄 女
垣内治雄 トルソ立つ
井上玲子 移行体 79
金子典義 少女
菅沼五郎 作品
坂上政克 G6
立体造形
山井イク夫 風景—記憶1
伊藤隆康 コーポレート・シンボルのための試作S=1:10
菅沼緑 作品
真板雅文 無題
原口典之 無題
高橋勝 旅行者(瞬間と連続)
小泉勝雄 内面の動き
市川治之 79—01
藤田昭子 山の住居No.1

工芸
赤地友哉 捲胎緑漆喰筆
赤堀郁彦 無限への球体B
岡村康子 風呂先屏風
菅間ゆみい 花芯
名務鑑三 クリスタル花瓶
吉田丈夫 クリスタルガラス器
青野武市 プラビール羊齒紋
大宮希陶志 クリスタル鉢
松浦松夫 花瓶「大薺の春」
慶寺丹長 クリスタル花器
中田呂尚 青銅透紋花器
筒釜

山口壽雄 風炉釜
暮田延美 染額「芥子」
佐藤もとい 花影抄
廣井樹美 華文
浜田真爽子 細絵絹 爽竹
平田徹子 開花のリズム
山岸南子 ある空間
林喜美子 みのり
桂川幸助 NATURAL II
野田芳正 劇
橋本公恵 初日の出
渡辺はつ子 野道
芝山吉郎 作品
鈴木三成 青磁壺
南雲龍 伝説の国
小島章光 草文花瓶
平野トシ子 染付椿紋 大皿
加藤 皇 朱班点天国釉花瓶
三浦 勇 四方アラベスク 陶灯
林良達 王位への道
安田律子 印花文鉢
佐藤靖房 彩流
松井三郎 映
江刺栄一 鉢
尾留川忠 鉢
竹村佳男 文箱(斜交)
水野矯夫 愛の端數
佐野登志子 紫炎
国行道子 彼方へ
近藤詠子 五行の祈り
馬場松堂 作品'79

書

赤松万寿枝 冬の歌

天野翠琴 俳句一句
荒井香竹 近代詩文
飯原青洲 七言二句
池上鶴洋 唐詩
伊東撫劍 蘇轼詩
伊奈翠陽 北原白秋 花を活けつつ
鶴飼寒鏡 旅
及川初恵 俳句
大道静波
岡田扇香 和歌
川口芝香 和歌、尾上柴舟の歌
久保田昭子 和歌
斎藤丹鶴 欧陽修詩
志賀正枝 和歌
重田翠村 白楽天の詩
島津碧嵐 高青邱詩
鈴木小江 万葉集の歌
鈴木龍雲 李白詩
仙場右羊 心如鐵石
竹内鳳仙 盟
田中貞洲 行書14字
溪口幽城 島崎藤村詩「草枕」より
殿村藍田 梁武帝詩
中平南谿 莫眼華
中村松堂 山園翠欲流
中山鶴雲 古稀述懐
西川万象 白楽天詩
西村西湖 寒山詩
円羽蒼処 李賀詩 洛殊真珠
萩原櫛風 詞林拾
船橋春浦 志ぐれふる
比田井南谷 78-2
村上紫茜 黄遵憲詩
山口清苑 唐詩
吉田蘭處 許渾詩 洛陽城

青木香流 秋の訪中に拾う
松本利一 近代詩文
竹田悦堂 春の歌二首

写真

伊藤藤十郎 黒四ダム風景
伊豆サボテン園
内山知治 ふる里(3枚組写真)
大谷正夫 戦友
奥村泰宏 あれから30年
塙田正男 ヌード
鈴木健夫 呂宋
須田恒弘 しらかば
中島倍三 吉日
野沢喜七 レクイエム
浜口タカシ 生きる
平山勉 海辺の詩
平本昌義 午後
田中清隆 ファンタジー
佐治利雄 幻想
高橋勤 大師寄席
吉田健吉郎 後楽の日々

第14回神奈川県美術展委員会組織

顧問

日本画

小倉遊亀
中島清之
山本丘人

洋画

小山敬三
斎藤義重

彫刻

圓鍔勝三
高田博厚
安田周三郎

工芸

赤地友哉
各務鑛三
蓮田脩吾郎

書

殿村藍田
比田井南谷

写真

影山光洋

(順不同)

委員会委員

委員長 穴水清彦
副委員長 李家正基
菅原寿雄
竹田道太郎
土屋利保
寺田透
土方定一
三上次男
吉田耕三
李家正基
六川英一
加藤東一
国領経郎
斎藤寿一
井上信道
斎藤義重
各務鑛三
殿村藍田
奥村泰宏

(順不同)

大賞・準大賞選考委員

穴水清彦
菅原寿雄
竹田道太郎
土屋利保
寺田透
土方定一
三上次男
吉田耕三
李家正基
六川英一
加藤東一
国領経郎
斎藤寿一
井上信道
斎藤義重
各務鑛三
殿村藍田
奥村泰宏

(順不同)

審査員

日本画
大森 運夫
加藤 東一
竹田 道太郎
月岡 栄貴

洋画
江添 栄一郎
鬼頭 瞳
小泉 元生
国領 経郎
鷺 剛
勝呂 忠
鶴田 猛
寺田 透
土方 定一
森 秀男

版画
斎藤 寿一
田島 宏行
野村 博
由木 礼

彫刻
浅井 行雄
井上 信道
圓錆 勝三
坂上 政克

立体造形
斎藤 義重
原口 典之
島 州一

工芸
赤地 友哉
飯野 啓三
各務 鑛三
河村 又次郎
佐藤 もとい
竹内 佳夫
野田 芳正
蓮田 咲吾郎
水野 矯夫
吉田 耕三
吉田 丈夫

書
青木 香流
大島 崑山
岡田 扇香
斎藤 丹鶴
仙場 右羊
竹田 悅堂
殿村 藍田

写真
奥村 泰宏
影山 光洋
塩田 正男
田中 雅夫
常盤 とよ子
浜口 夕カシ

日本画
浅見 信夫
石川 韶
・大山 鎮

洋画
青木 一美
阿部 和美
越後島 進
河野 曰出雄
小清水 金司
・阪本 文男
島谷 晃
白鳥 三郎
内藤 雅彦
服部 和益

版画
柳木 順子
・若江 漢字

彫刻
・伊藤 芳雄
金子 典義
河原 明
陶山 定人

立体造形
・高橋 勝
原田 和男
望月 菊麿

工芸
石川 充宏
・佐野 登志子
芝山 吉郎
竹村 佳男
野田 行作
浜田 真莢子
松井 三郎
松浦 松夫
安田 律子

書
重田 翠村
島津 碧嵐
溪口 幽城
西川 万象
萩原 柳風
・吉田 蘭處

写真
伊藤 藤十郎
・大谷 正夫
里見 力磨
鈴木 健夫
中島 倍三
野沢 喜七
吉田 健吉郎

・印は各部門実行委員長

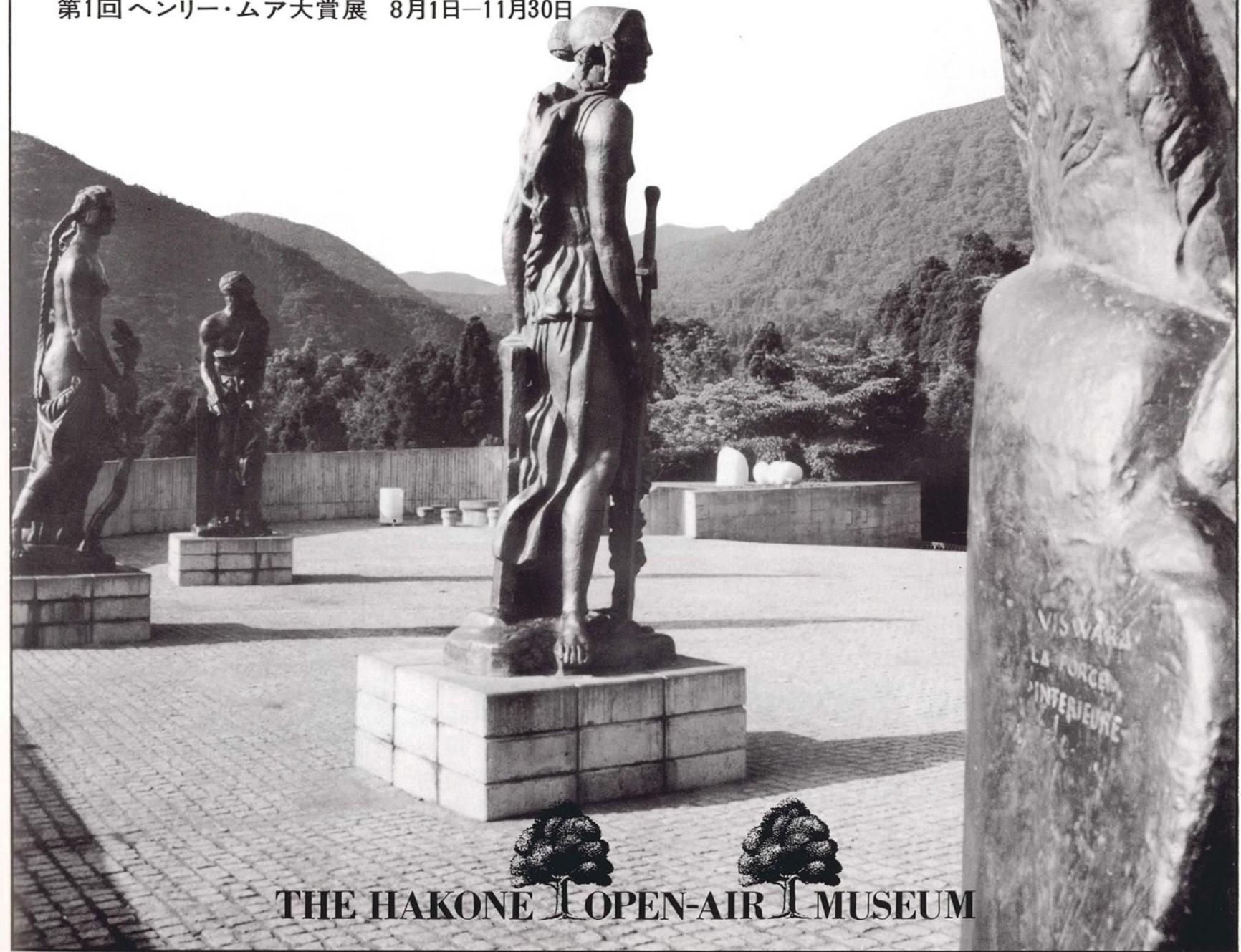
彫刻の森美術館《年中無休》

箱根登山鉄道・彫刻の森駅下車歩いて2分
神奈川県足柄下郡箱根町二の平 TEL.0460-2-1161

《開催予定》

巨匠画家の彫刻展 6月30日—7月29日

第1回ヘンリー・ムア大賞展 8月1日—11月30日



THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

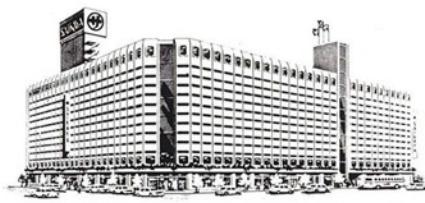
あなたのイメージを定着させる
フジカラープリントは
すぐれた設備と確かな品質管理から生まれます。



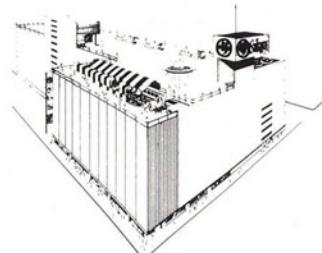
神奈川フジカラー
横浜市旭区川島町2888
☎045(381)7111代

小田原営業所 } 0465(47)8111代
" 事業所 }
町田営業所 0427(27)0111代
鎌倉営業所 0467(31)8111代
川崎営業所 044(522)7133代

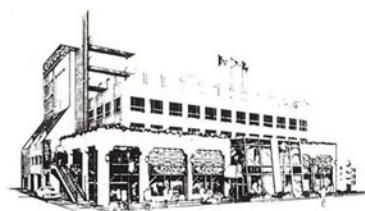
よい品にまごころそえて
ベターライフの
お手伝い。



●川崎店/☎ 044・211・3111
〒210 川崎市川崎区小川町 1



●横須賀店/☎ 0468・23・1234
〒238 横須賀市大滝町 1～10



●町田ジョルナ/☎ 0427・23・2531
〒194 町田市原町田 6-6-14



世界のファッショント文化のプラザ

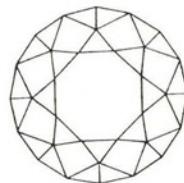


三越グループ
藤沢
さいか屋

☎(代表)0466(27)1111・水曜定休
〒251 藤沢市藤沢3-5-5番地



さわやか ショッピング



横浜駅西口
ダイヤモンド
地下街

TEL (311)1221
180の有名専門店
380台収容の地下大駐車場

'78-'79 winter COAT collection



いいコートを着ると春の便りがうとましい。

Ladies' オスカーデラレンタ

'78-'79 冬のコートコレクション

横浜三越3階レディスファッショングロア

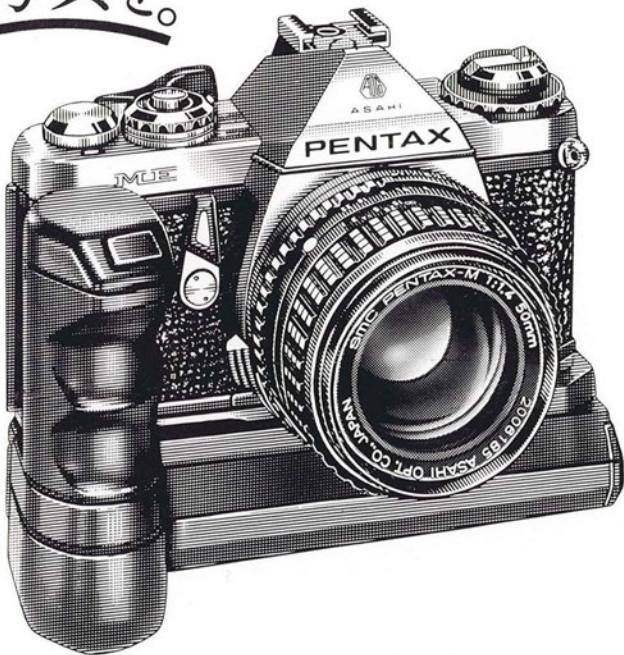
お買物はヨコハマの三越へ



〒220 横浜市西区北幸1-2-7 TEL(045)312-1111

ワインダー装備で一段と好評、

いい写真を。



標準価格

SMCペンタックスM 50ミリ F1.7付……………¥69,500

SMCペンタックスM 50ミリ F1.4付……………¥79,400

ケース………¥4,000 ワインダーME………¥23,000

自動マイクロ一眼

- 世界最小最軽量の自動露出一眼レフ
- 16段階のLEDでシャッター速度表示
- 機動性を発揮するワインダーME
- 機動性抜群のバヨネットKマウント
- 小型軽量SMCペンタックスMレンズ



旭光学商事株式会社 〒232 横浜市中区不老町1-4-6 東明ビル旭光学横浜営業所

大人の詩。ニナ・リッチ

パリの雰囲気をいっぱいに漂わせて
この冬もニナ・リッチ
杉綾を使ったテーラードなスーツとコートは
あなたの高まる心をシックに飾ります



家族で楽しいショッピング



イセザキ町

横浜松坂屋

電話 261-2121 水曜定休
土・日・祝は6時30分まで

78秋冬のファッショ
きのうとはちがう私

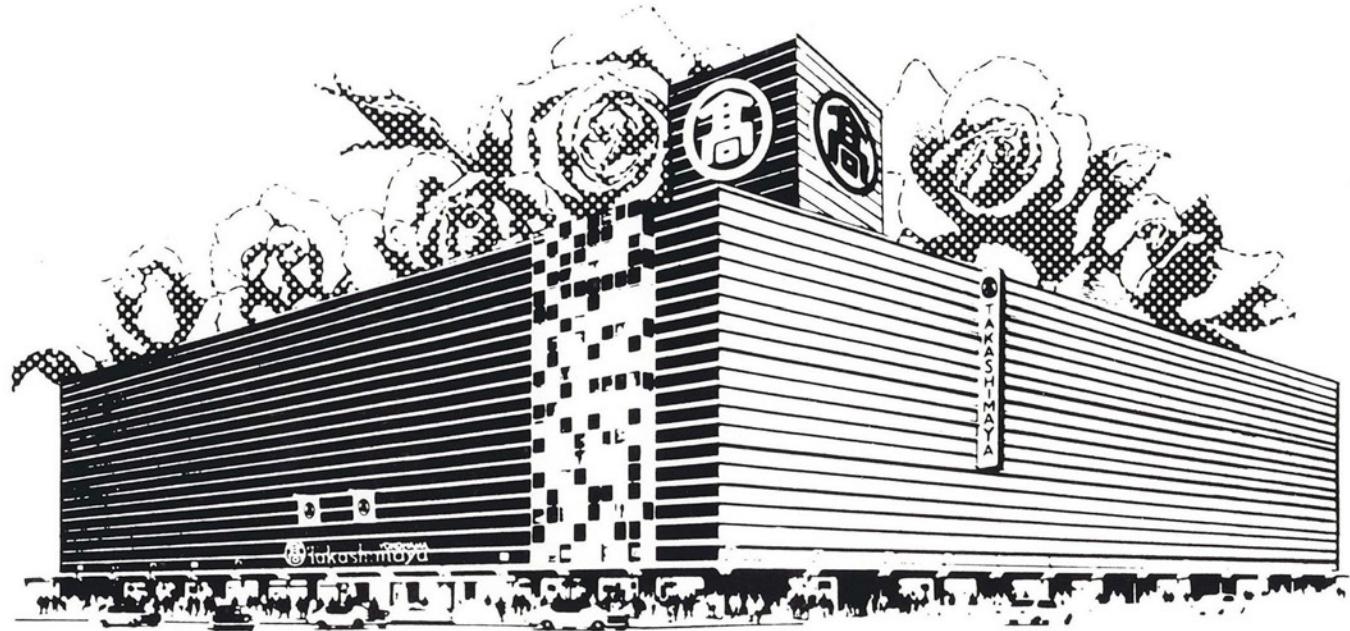
N NINA RICCI

ニナ・リッチのデザインによる日本製

○本館3階ニナ・リッチコーナー

素 敵 な く ら し

力 い つ ぱ い お 手 伝 い



横浜高島屋
電話／横浜045(311)1251

県下随一!! 洋画材料・日本画材料・デザイン用品の専門店。



ヨコハマ馬車道
 ユーリンファボリ

4階・アーティスルーム

●洋画材料 ●日本画材料 ●書道用品 ●和紙 ●書籍(美術・書道)

☆額縁のイージーオーダーを承っております。

5階・デザインルーム

●デザイン用品 ●デザイン書 ●各種紙類(シート、ロール、カッティングシート)

●イラストボード各種 ●インレタコーナー ●ドライマウントサービス

☆速くて、きれいな印刷 《ファボリ・コピントショップ》
あなたの身近な印刷ショップです。お気軽にどうぞ.....

■2F=マイフェイバリットルーム (インテリア小物etc...) ■3F=ブックスルーム
■4F=アーティスルーム ■5F=デザインルーム ■6F=サウンドルーム
■7F=ギャラリー

TEL.(045)662-1231

グループ展に…個展に…

作品発表の場としてご利用下さい。

ユーリンファボリ・7階ギャラリー

●ギャラリーについてのお申込み・お問合せは
有隣堂営業企画課 ギャラリー係へどうぞ。
TEL.(045)261-1231(代表)

サクラカラーII

信頼のあける**品質**を

迅速にあとどけする

プロ用カラープリント
アマチュア用カラープリント

株式会社 **京浜現像所**

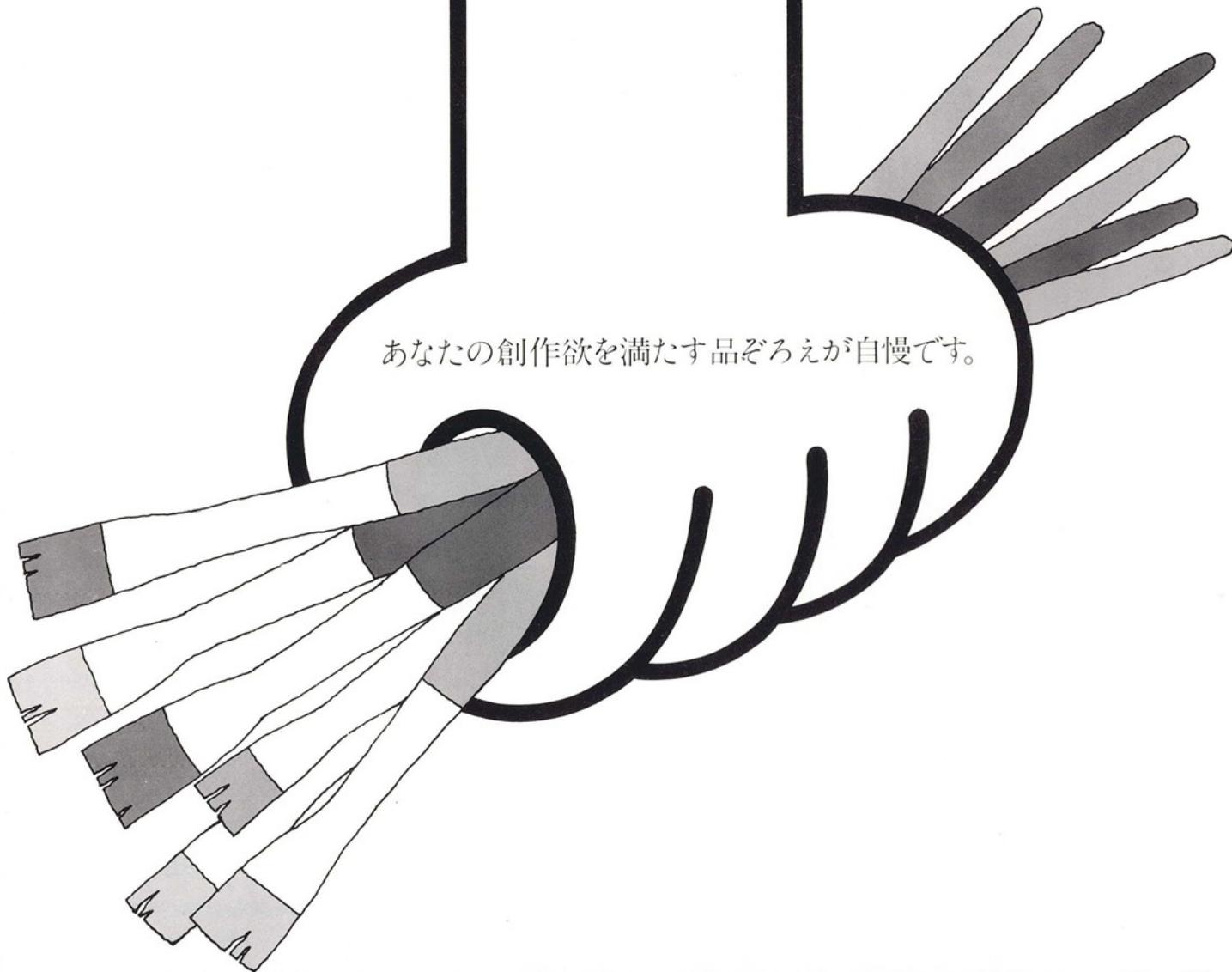
横浜市神奈川区新子安1-22-22
TEL 045(431)7221

サクラカラーII

UCHUDO

●洋画材料●デザイン用品●額縁

あなたの創作欲を満たす品ぞろえが自慢です。



ALL OF ART MATERIAL

宇宙堂

横浜店 横浜ステーションビル4F・6F TEL.045-311-1281(代) 内線587(4F) 522(6F)
鶴見店 鶴見駅ビル3F・5F TEL.045-521-4520(3F)・045-521-3637(5F)

蒲田、仙台、千葉、津田沼、船橋、松川、他全12店舗

大切なお金、どうふやそう?



東洋信託銀行は、「内線1番」が
電話でのお申し込み、ご相談専用です。
ベテランの係員がお待ちしています。
大切なお金のこと、時節柄、安全で有利な
貯蓄を、とお考えでしたら、
どしどしご利用ください。

- お預け金は、1万円から万円単位です。
- 元金保証です。
- 期間は、5年と2年の2通りです。
- ~~匯~~をご利用になれば、元金300万円まで
の利息にかかる税金は免除されます。

利息を考えるなら

**東洋の
貸付信託**

**電話(045)
311-2421**

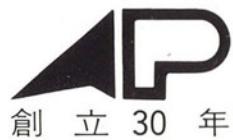
- お預け金は、5千円以上ならいくらでも
- 5年後まとめて受け取れます。
- 元金は保証です。
- コースは、100万円、200万円などいろいろです。
- ~~匯~~をご利用になれば、元金300万円まで
の利息にかかる税金は免除されます。

積立なら、早く貯まる

**東洋の
プラス信託**

東洋信託銀行 横浜支店

〒220 横浜市西区北幸1の1の8 横浜駅西口前



朝日オフセット印刷株式会社

取 締 役 社 長 廣 田 敏 夫

横浜市鶴見区本町通1-22 電話045-511-0141(代)

工 場…本町通・下野谷(オフ輪)・戸塚団地

デザイン・企画

新聞折込・ポスター・掲載

朝日グループ…株式会社**あい企画**・有限会社**鶴見廣告社**



アート宝飾のダイヤモンドは、すべて
G.I.A., G.G.(米国宝石学会公認鑑定士)
2名によるダブルチェックによって選び
ぬかれたものばかりです。

伝統と信用の宝石専門店

直輸入アクセサリー

スカーフ

ネクタイ

美術工芸品



BonArt

ボン アート

☎ 662-3111

アート宝飾

本店 横浜市中区常盤町4丁目45番地(アートビル) ☎ 662-3111 ₩231

横浜駅ビル4階店 ☎ 314-1414

支店 横浜駅ビル2階店 ☎ 314-2020

相鉄ジョイナス1階店 ☎ 314-7777

ダイヤモンド地下街店 ☎ 312-5555

豊かな明日をつくる相鉄

相鉄は、交通・流通・開発・建設・観光など多くの事業を通して、はばひろく皆さまの暮らしの役に立ちたいと願っています。



相模鉄道

横浜市西区北幸一丁目3番23号

〒220 ☎045-319-2111(代)

発 行 神奈川県美術展委員会
事務局：神奈川県県民部文化室
表紙デザイン 小松原宏重
製作・印刷 朝日オフセット印刷株式会社

